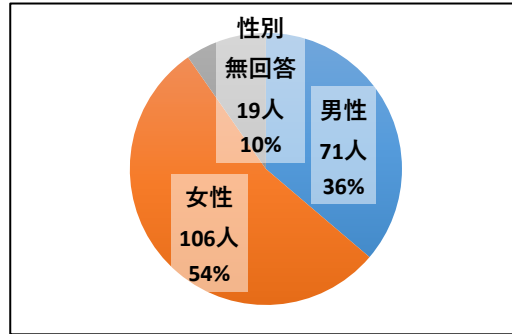


回収：196 (R2.5/21時点)

I 1-1 性別

男性	71
女性	106
性別無回答	19
計	196



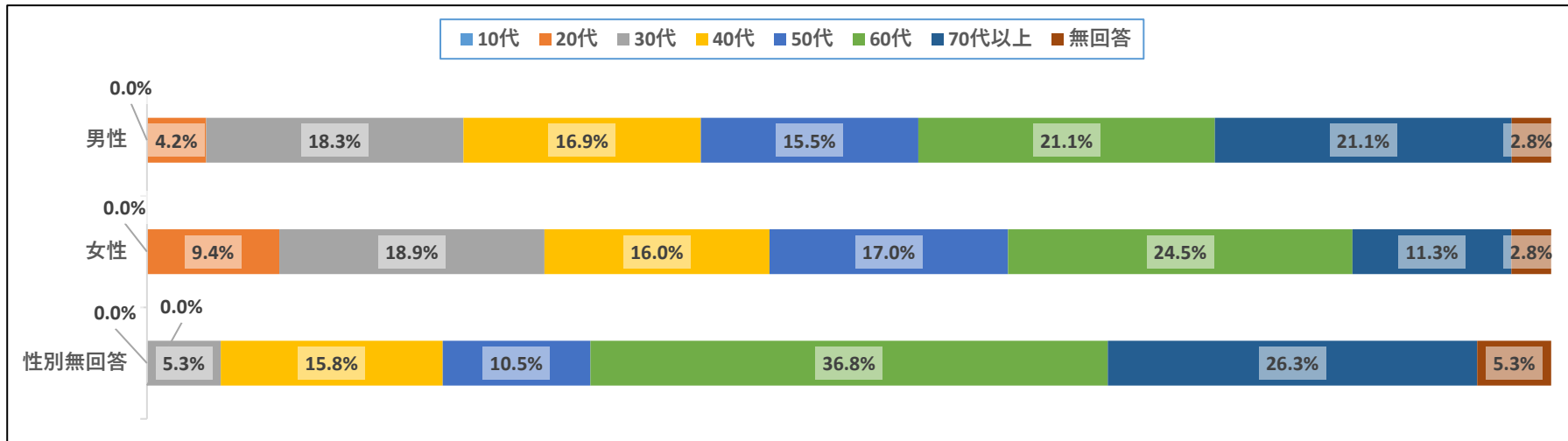
I 1-2 年齢

【人数】

性別	年代								計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
男性	0	3	13	12	11	15	15	2	71
女性	0	10	20	17	18	26	12	3	106
性別無回答	0	0	1	3	2	7	5	1	19
計	0	13	34	32	31	48	32	6	196

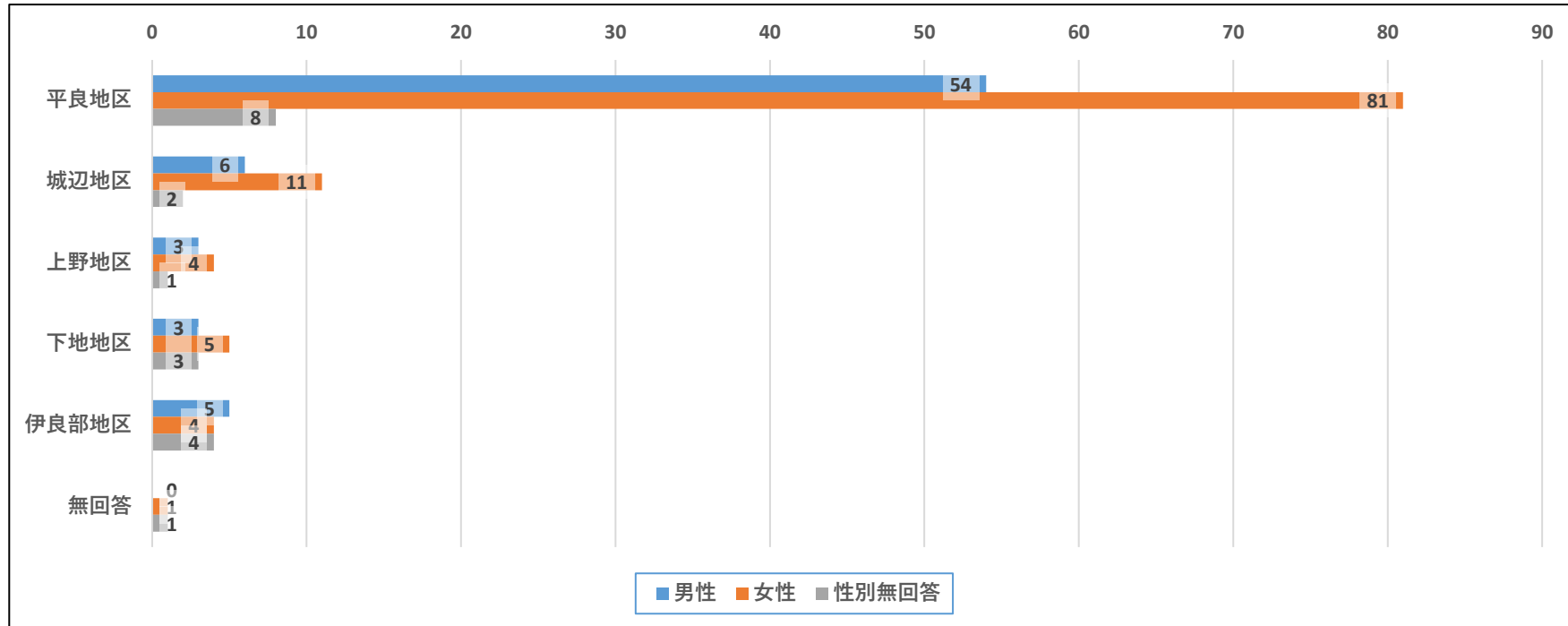
【割合】

性別	年代							
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
男性	0.0%	4.2%	18.3%	16.9%	15.5%	21.1%	21.1%	2.8%
女性	0.0%	9.4%	18.9%	16.0%	17.0%	24.5%	11.3%	2.8%
性別無回答	0.0%	0.0%	5.3%	15.8%	10.5%	36.8%	26.3%	5.3%



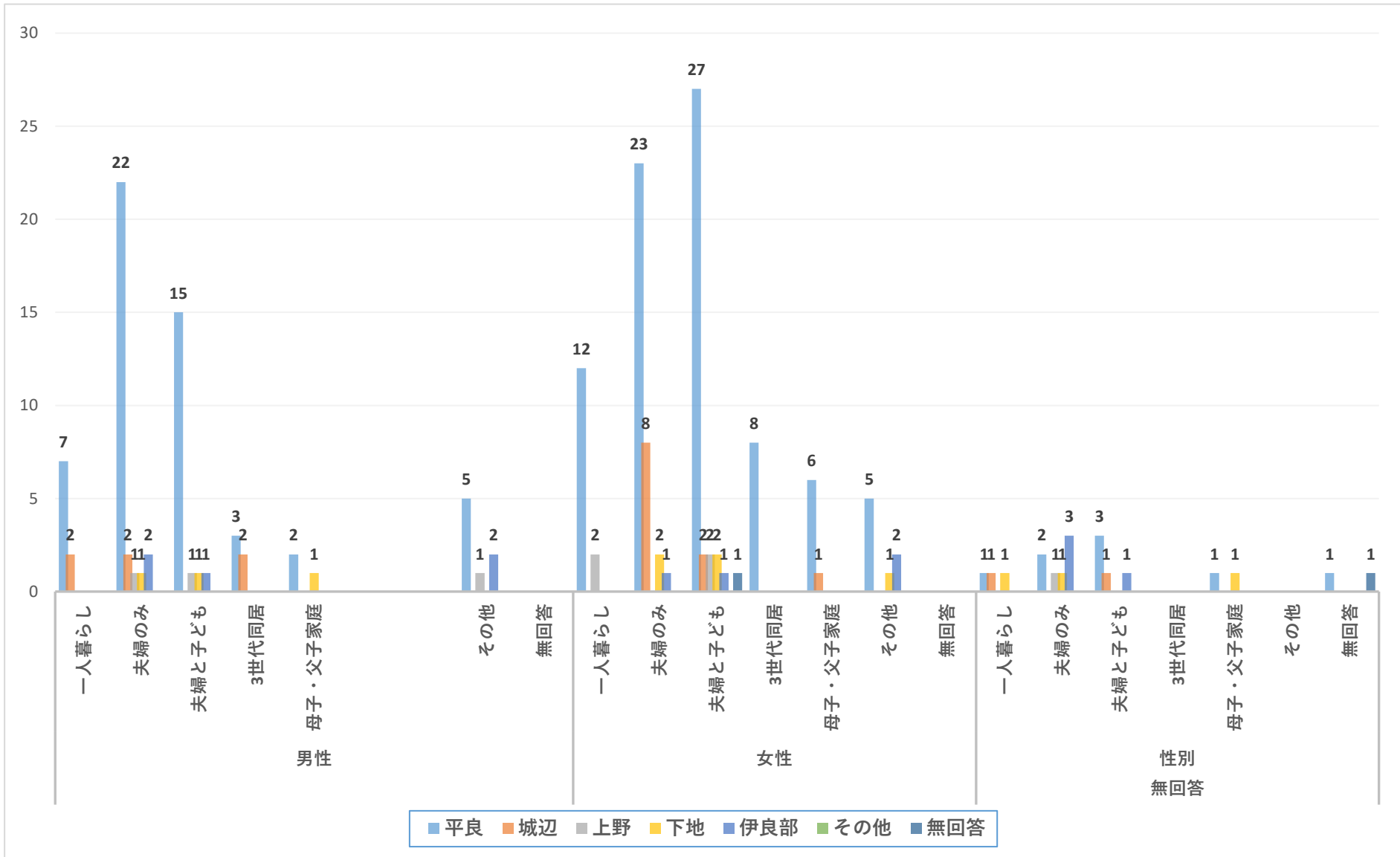
I 2 居住地区

性別	居住地区							計
	平良地区	城辺地区	上野地区	下地地区	伊良部地区	その他	無回答	
男性	54	6	3	3	5	0	0	71
女性	81	11	4	5	4	0	1	106
性別無回答	8	2	1	3	4	0	1	19
計	143	19	8	11	13	0	2	196



I 3 家族構成

【地域別】



Ⅱ_2.記述回答

○男性○ ・内縁の夫と妻（40代）

○女性○ ・婚約者と二人暮らし（30代）

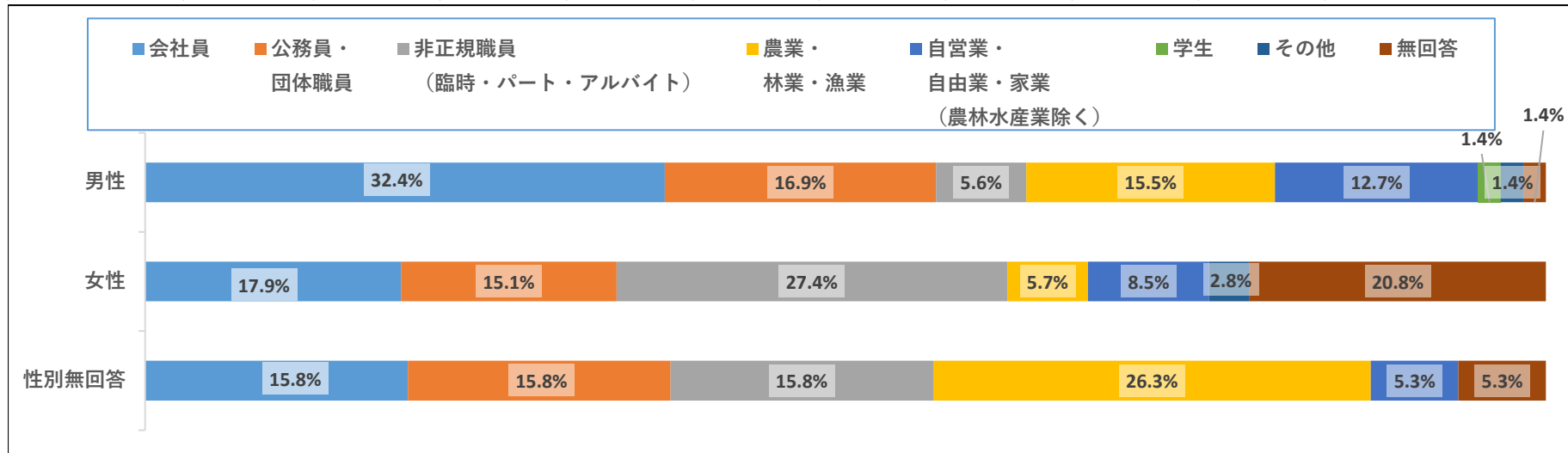
・夫婦と母親（60代）

I 4_1 職業

職業										
性別	会社員	公務員・ 団体職員	非正規職員 (臨時・パート・ アルバイト)	農業・ 林業・漁業	自営業・ 自由業・家業 (農林水産業 除く)	学生	その他	無職	無回答	計
男性	23	12	4	11	9	1	1	9	1	71
女性	19	16	29	6	9	0	3	2	22	106
性別無回答	3	3	3	5	1	0	0	3	1	19
計	45	31	36	22	19	1	4	14	24	196

【割合】

職業										
性別	会社員	公務員・ 団体職員	非正規職員 (臨時・パート・ アルバイト)	農業・ 林業・漁業	自営業・ 自由業・家業 (農林水産業 除く)	学生	その他	無職	無回答	
男性	32.4%	16.9%	5.6%	15.5%	12.7%	1.4%	1.4%	12.7%	1.4%	
女性	17.9%	15.1%	27.4%	5.7%	8.5%	0.0%	2.8%	1.9%	20.8%	
性別無回答	15.8%	15.8%	15.8%	26.3%	5.3%	0.0%	0.0%	15.8%	5.3%	



Ⅱ_4.記述回答

○男性○ ・ 医療関係者（30代）

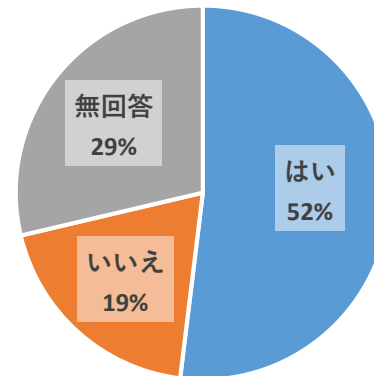
○女性○ ・ 育休中（30代）

○性別無回答○ ・ （「無職」を選択の上）時々農業手伝い（40代）

I 4_2 共働きである

性別	はい	いいえ	無回答	計
男性	15	15	2	32
女性	45	5	34	84
性別無回答	7	5	1	13
計	67	25	37	129

共働きである（全体割合）



記述回答

・ 医療関係者（30代男性）

・ 育休中（30代女性）

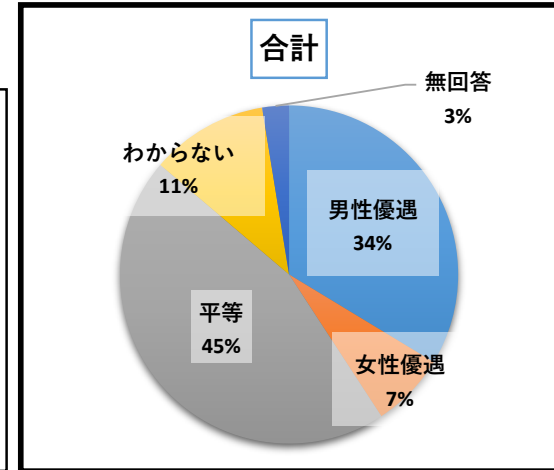
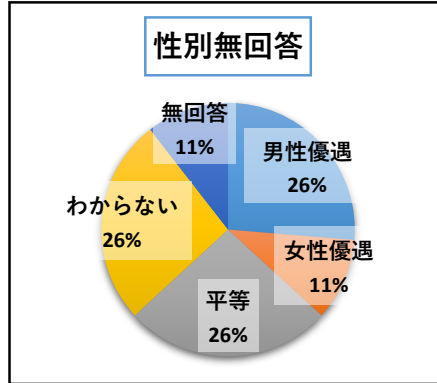
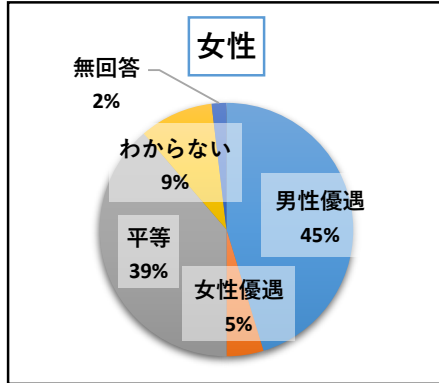
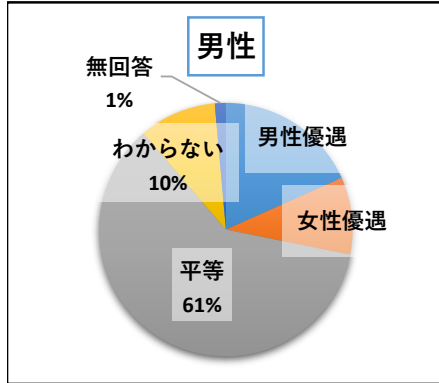
・ （「無職」を選択の上）時々農業手伝い（40代性別無回答）

Ⅱ 人権について

1.男性と女性は憲法上平等とされているが、どう感じているか。

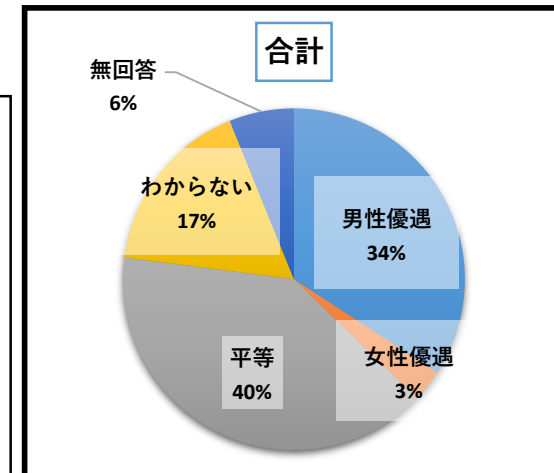
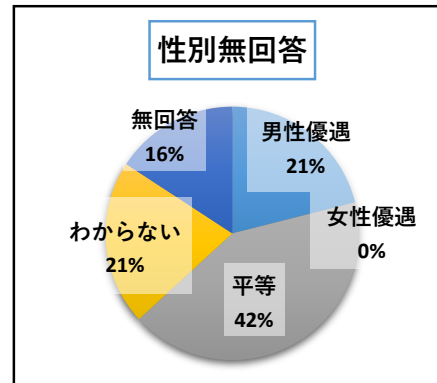
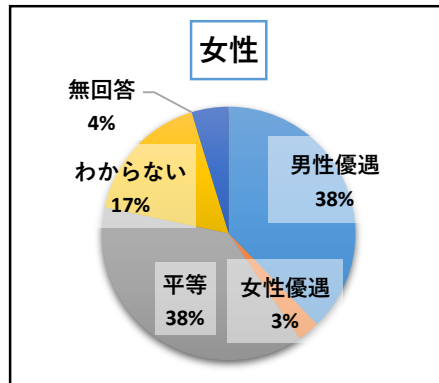
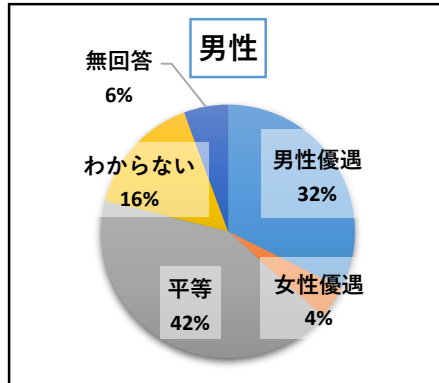
Ⅱ 1-1 家庭では

	男性優遇	女性優遇	平等	わからない	無回答	計
男性	13	7	43	7	1	71
女性	48	5	41	10	2	106
性別無回答	5	2	5	5	2	19
計	66	14	89	22	5	196



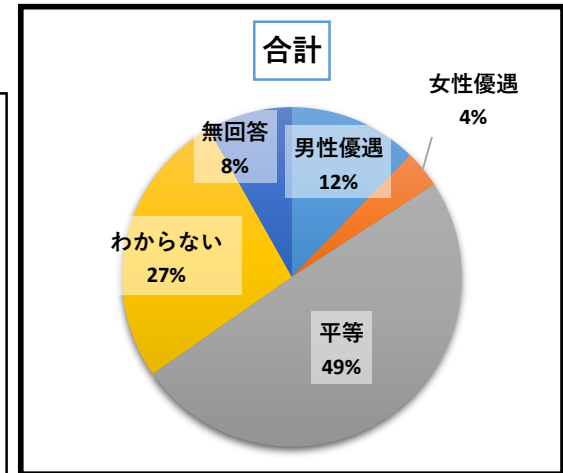
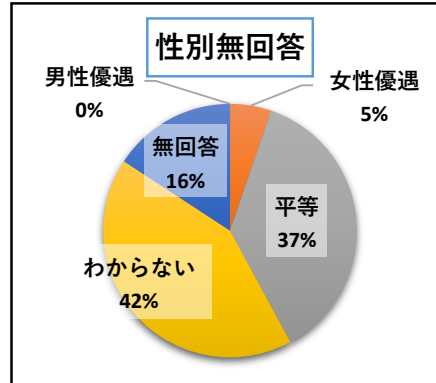
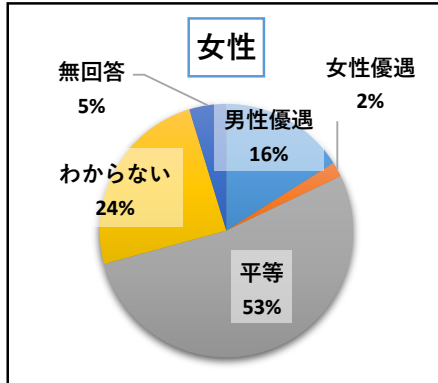
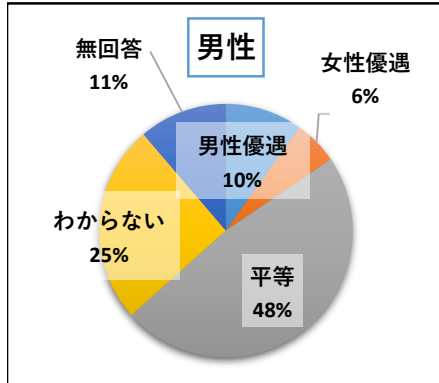
Ⅱ 1-2 職場では

	男性優遇	女性優遇	平等	わからない	無回答	計
男性	23	3	30	11	4	71
女性	40	3	40	18	5	106
性別無回答	4	0	8	4	3	19
計	67	6	78	33	12	196



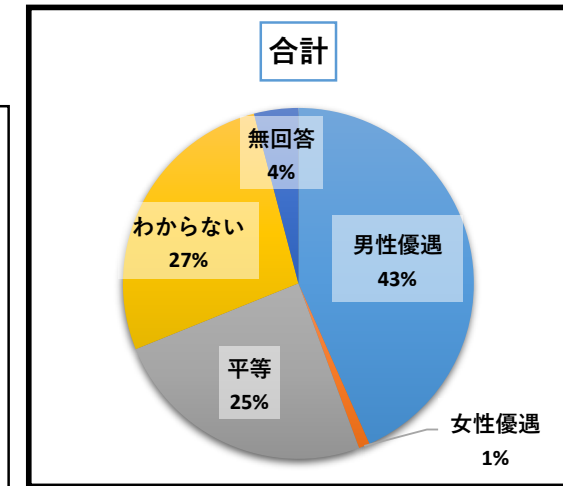
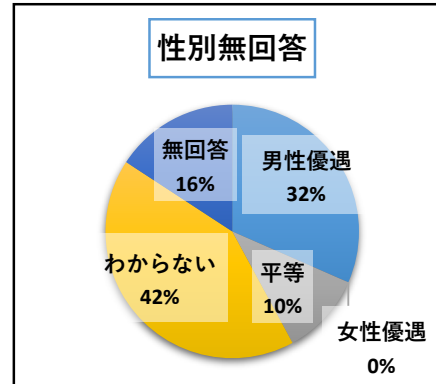
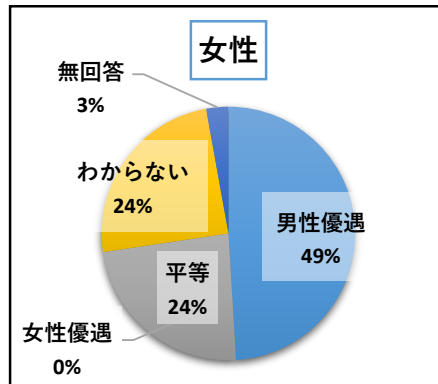
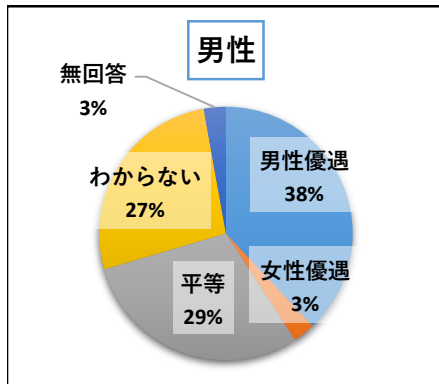
II 1-3 教育の場では

	男性優遇	女性優遇	平等	わからない	無回答	計
男性	7	4	34	18	8	71
女性	17	2	56	26	5	106
性別無回答	0	1	7	8	3	19
計	24	7	97	52	16	196



II 1-4 地域・自治会等では

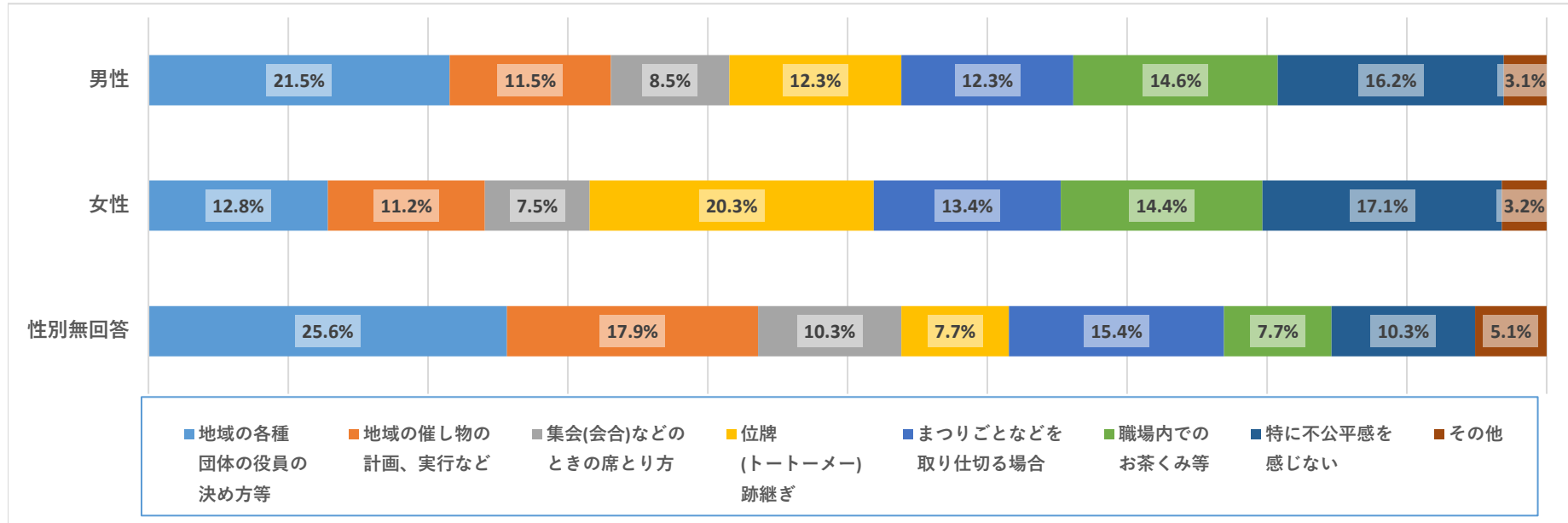
	男性優遇	女性優遇	平等	わからない	無回答	計
男性	27	2	21	19	2	71
女性	52	0	25	26	3	106
性別無回答	6	0	2	8	3	19
計	85	2	48	53	8	196



Ⅱ 2.あなたはどのようなとき男女の不公平感を感じますか（複数回答）

	地域の各種団体の役員の決め方等	地域の催し物の計画、実行など	集会(会合)などのときの席とり方	位牌(トートーメー)跡継ぎ	まつりごとなどを取り仕切る場合	職場内でのお茶くみ等	特に不公平感を感じない	その他	計
男性	28	15	11	16	16	19	21	4	130
女性	24	21	14	38	25	27	32	6	187
性別無回答	10	7	4	3	6	3	4	2	39
計	62	43	29	57	47	49	57	12	356

【割合】	地域の各種団体の役員の決め方等	地域の催し物の計画、実行など	集会(会合)などのときの席とり方	位牌(トートーメー)跡継ぎ	まつりごとなどを取り仕切る場合	職場内でのお茶くみ等	特に不公平感を感じない	その他
男性	21.5%	11.5%	8.5%	12.3%	12.3%	14.6%	16.2%	3.1%
女性	12.8%	11.2%	7.5%	20.3%	13.4%	14.4%	17.1%	3.2%
性別無回答	25.6%	17.9%	10.3%	7.7%	15.4%	7.7%	10.3%	5.1%
計	17.4%	12.1%	8.1%	16.0%	13.2%	13.8%	16.0%	3.4%



Ⅱ_2.記述回答

- 男性○
 - ・居酒屋などのレディースプラン。メンズプランもあってほしい（20代）
 - ・給料の差、女性が常に低く設定されている（30代）
 - ・家庭での家事分担など（40代）

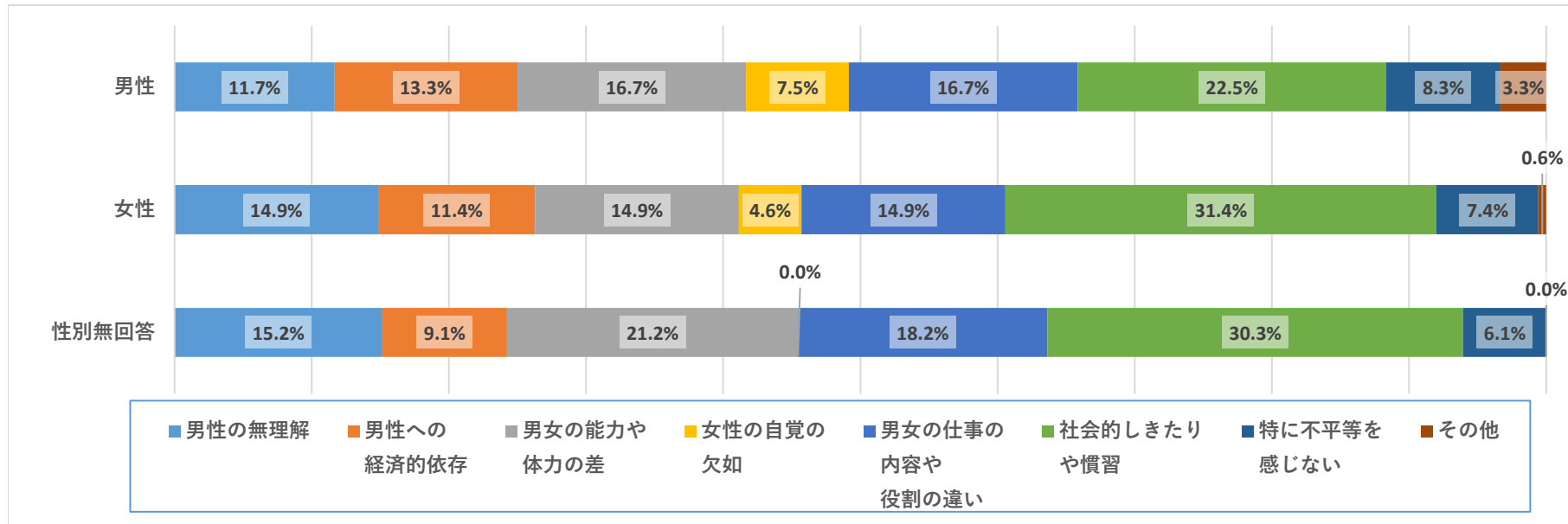
- 女性○
 - ・夫が家事、育児をしない。家庭を顧みない（30代）
 - ・家庭内（30代）
 - ・結婚して名字の変更をしないといけなかった時（30代）
 - ・昇格試験で男性が優先されている（40代）
 - ・仕事での昇進など（50代）
 - ・選挙の内容（60代）

- 性別無回答○
 - ・子どもの祝い事の時（ナーフィー、入学祝い、合格祝いetc）（30代）

Ⅱ 3.男女の不平等が生じる原因は何だと思いますか（複数回答）

	男性の無理解	男性への経済的依存	男女の能力や体力の差	女性の自覚の欠如	男女の仕事の内容や役割の違い	社会的しきたりや慣習	特に不平等を感じない	その他	計
男性	14	16	20	9	20	27	10	4	120
女性	26	20	26	8	26	55	13	1	175
性別無回答	5	3	7	0	6	10	2	0	33
計	45	39	53	17	52	92	25	5	328

【割合】	男性の無理解	男性への経済的依存	男女の能力や体力の差	女性の自覚の欠如	男女の仕事の内容や役割の違い	社会的しきたりや慣習	特に不平等を感じない	その他
男性	11.7%	13.3%	16.7%	7.5%	16.7%	22.5%	8.3%	3.3%
女性	14.9%	11.4%	14.9%	4.6%	14.9%	31.4%	7.4%	0.6%
性別無回答	15.2%	9.1%	21.2%	0.0%	18.2%	30.3%	6.1%	0.0%
計	13.7%	11.9%	16.2%	5.2%	15.9%	28.0%	7.6%	1.5%



Ⅱ_3.記述回答

- 男性○
 - ・過剰に男女平等を意識しすぎてると感じる（20代）
 - ・家長制度の名残。長男、男を立てるのを善とした文化（30代）
 - ・思い込み、刷り込み、無意識のうちに。親がそのような行動をしているのを子どもが見て、そうなんだとってしまう（30代）

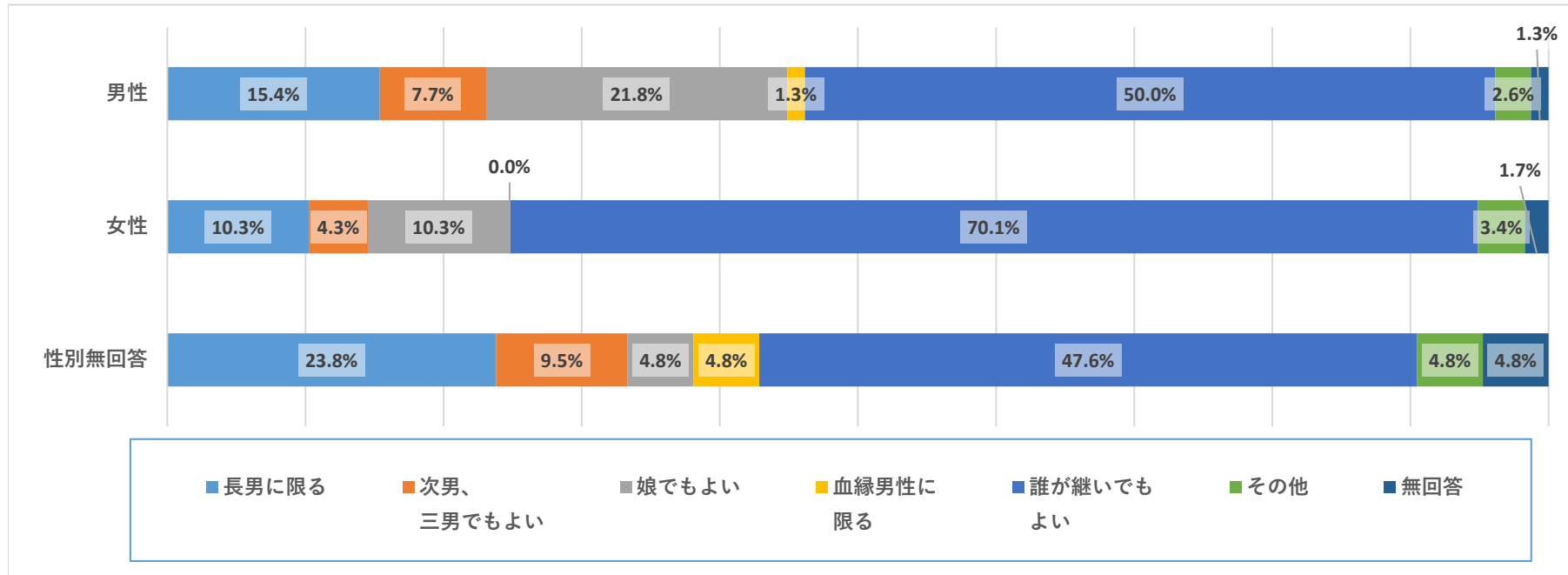
- 女性○
 - ・そもそも男女を同じとする規格、視点では平等にはならない（40代）

Ⅱ 4.位牌は誰が継いだ方が良いと思いますか

	長男に限る	次男、 三男でもよい	娘でもよい	血縁男性に 限る	誰が継いでも よい	その他	無回答	計
男性	12	6	17	1	39	2	1	78
女性	12	5	12	0	82	4	2	117
性別無回答	5	2	1	1	10	1	1	21
計	29	13	30	2	131	7	4	216

【割合】

	長男に限る	次男、 三男でもよい	娘でもよい	血縁男性に 限る	誰が継いでも よい	その他	無回答
男性	15.4%	7.7%	21.8%	1.3%	50.0%	2.6%	1.3%
女性	10.3%	4.3%	10.3%	0.0%	70.1%	3.4%	1.7%
性別無回答	23.8%	9.5%	4.8%	4.8%	47.6%	4.8%	4.8%
計	13.4%	6.0%	13.9%	0.9%	60.6%	3.2%	1.9%



Ⅱ_4.記述回答

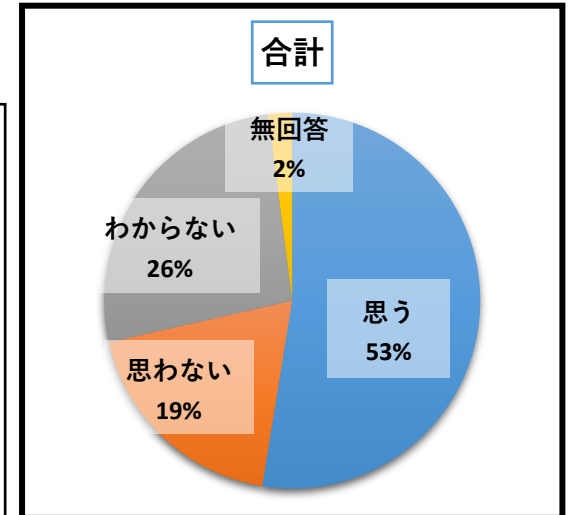
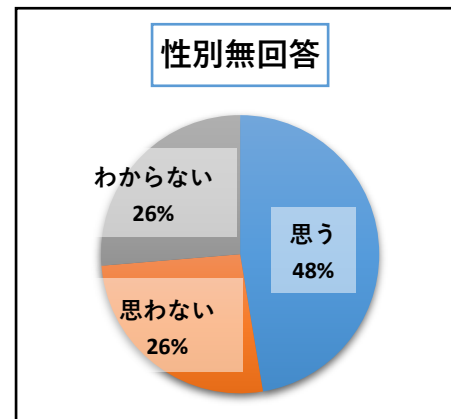
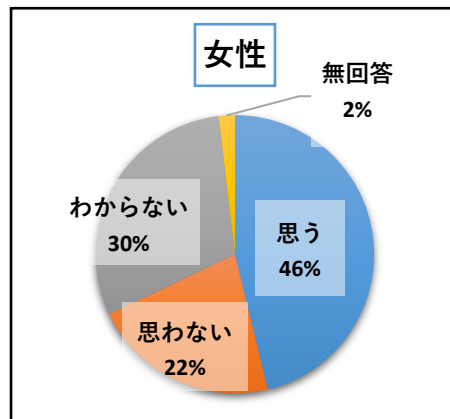
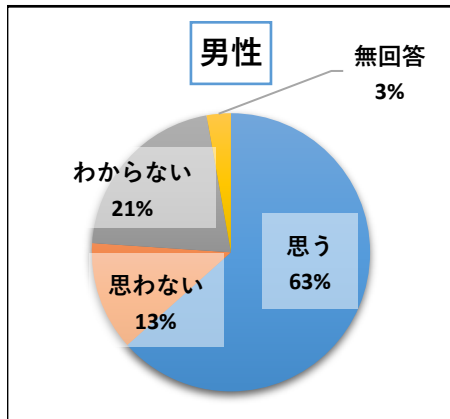
- 男性○
 - ・出来れば長男、継ぎたくなければ誰も継いでも継がなくても良い（50代）
 - ・永年供養でも良い（60代）

- 女性○
 - ・（「誰が継いでもよい」を選択の上）娘がいるのであれば、男でない方が良い。
その家庭で相談をして決めた方が良いと思う（50代）
 - ・宗教上位牌そのものを継がない（60代）
 - ・各家庭の内容条件によって決めれば良い（60代）

- 性別無回答○
 - ・（「誰が継いでもよい」を選択の上）相手方の理解があれば誰が継いでもいいかと思う（30代）

Ⅱ 5.ここ10年の間に女性の地位は向上したと思いますか

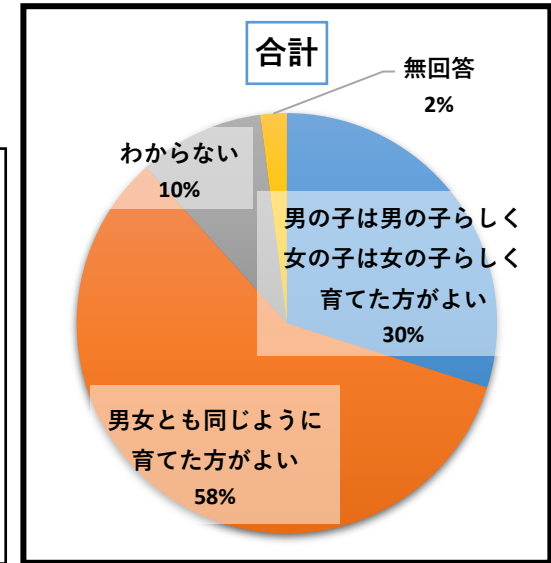
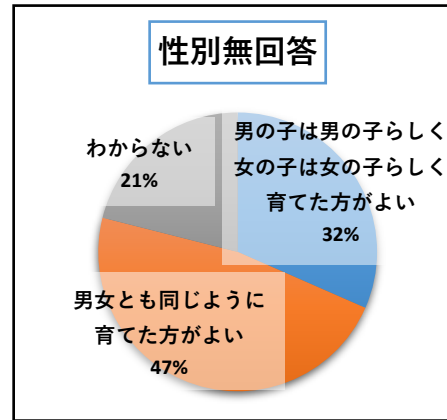
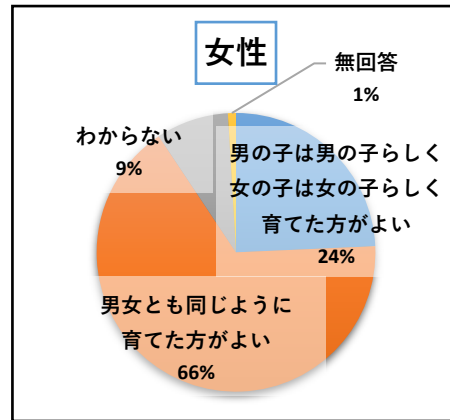
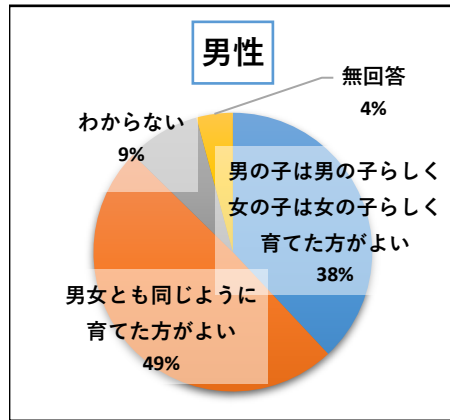
	思う	思わない	わからない	無回答	計
男性	45	9	15	2	71
女性	49	23	32	2	106
性別無回答	9	5	5	0	19
計	103	37	52	4	196



Ⅱ 6.子どもの育て方について

	男の子は男の子らしく 女の子は女の子らしく 育てた方がよい	男女とも同じように 育てた方がよい	わからない	無回答	計
男性	27	35	6	3	71
女性	26	71	9	1	107
性別無回答	6	9	4	0	19
計	59	115	19	4	197

←※複数回答1人

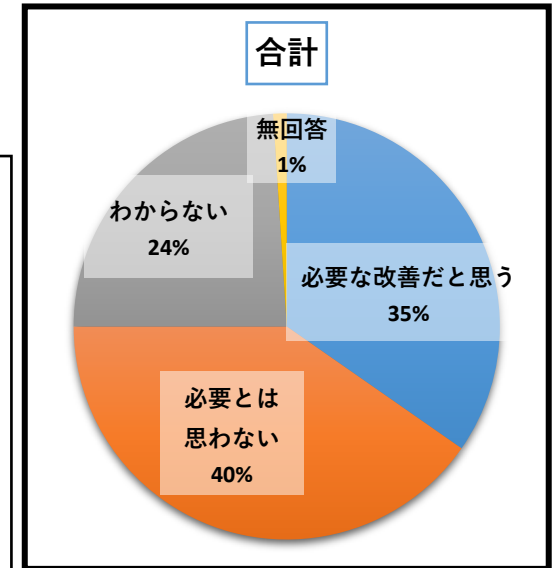
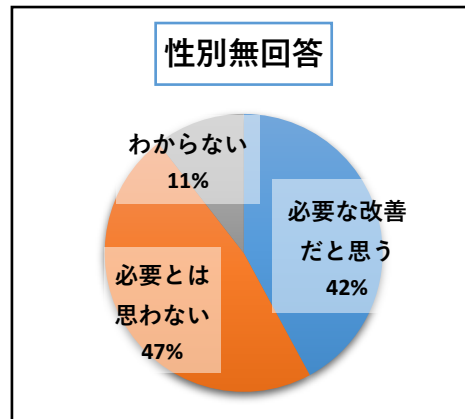
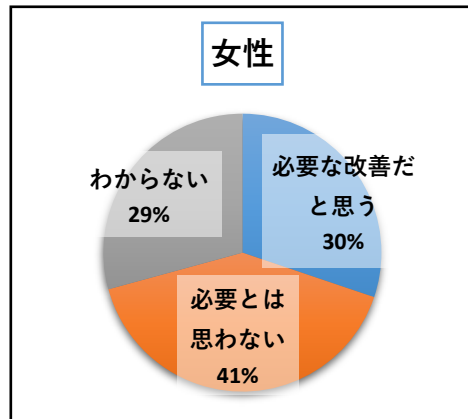
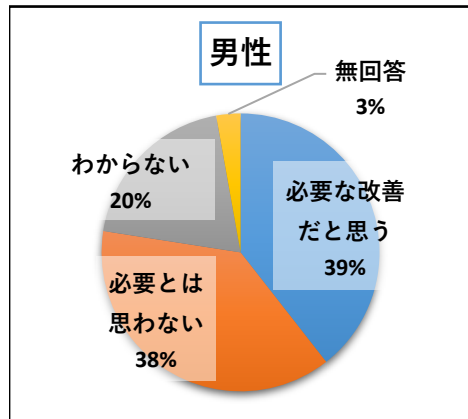


Ⅱ_6.記述回答

- 男性○
 - ・（無回答の上）子どもは勝手に育つ。今の時代に平等にとか、男らしく女らしくは流れに逆行している（30代男性）
 - ・（無解答の上）性別関係なく一人一人個性を見極めて育てる（30代男性）
- 女性○
 - ・男、女ではなく、個々によって対応すれば良い（年代不明）

Ⅱ 7.出席簿の並び順を「男→女」の順から、アイウエオ順や地域順等に変えるという考え方がありますが、どう思いますか。

	必要な改善 だと思う	必要とは思 わない	わからない	無回答	計
男性	28	27	14	2	71
女性	32	43	31	0	106
性別無回答	8	9	2	0	19
計	68	79	47	2	196

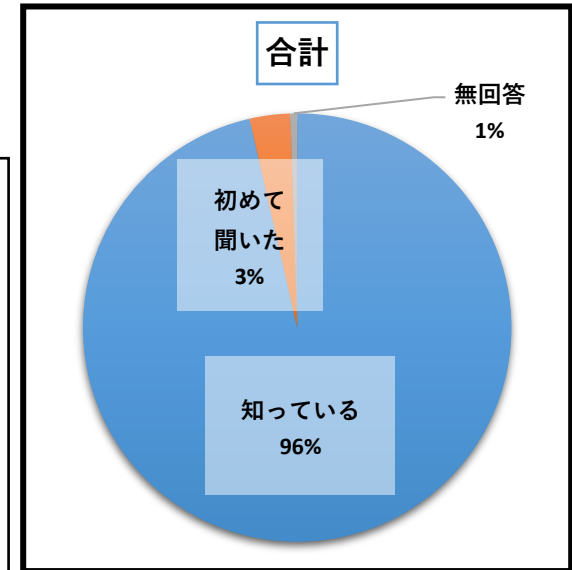
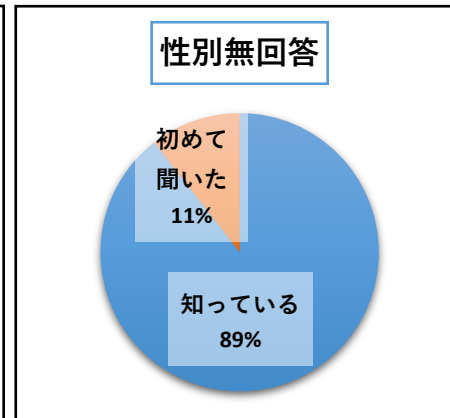
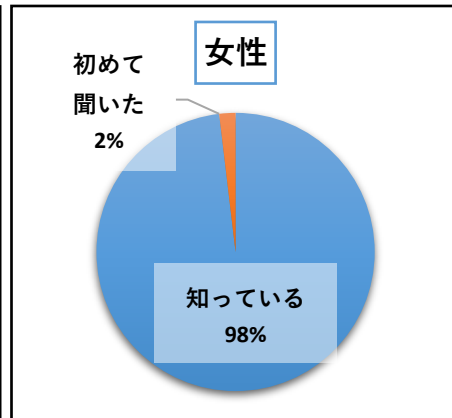
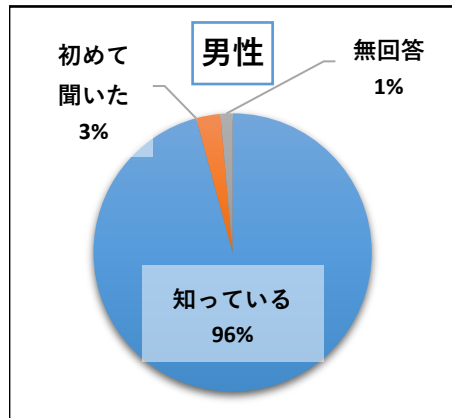


Ⅱ_7.記述回答

- 男性○ ・ (無回答の上) 好きにしたらいい (30代)
- 女性○ ・ 元々アイウエオ順で育ったので男→女の順があったのを知らなかった (30代)

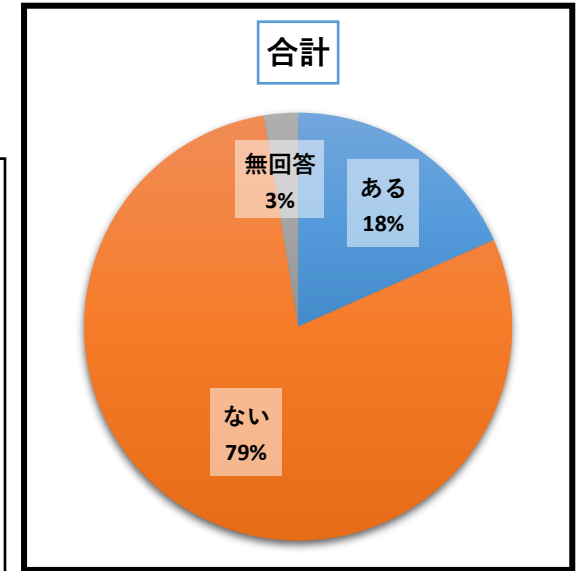
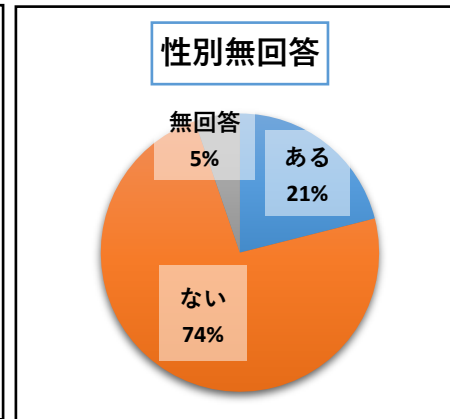
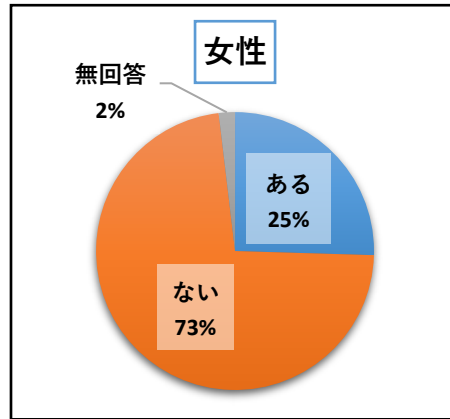
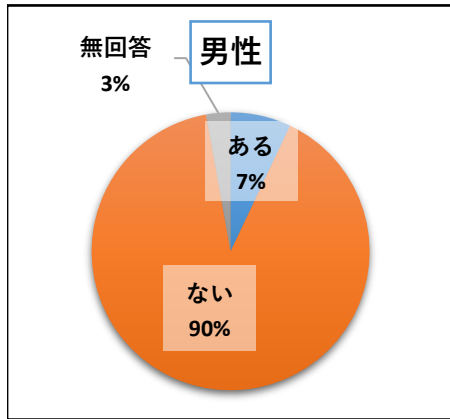
Ⅱ 8.あなたはDV(ドメスティックバイオレンス)について知っていますか。

	知っている	初めて聞いた	無回答	計
男性	68	2	1	71
女性	104	2	0	106
性別無回答	17	2	0	19
総計	189	6	1	196



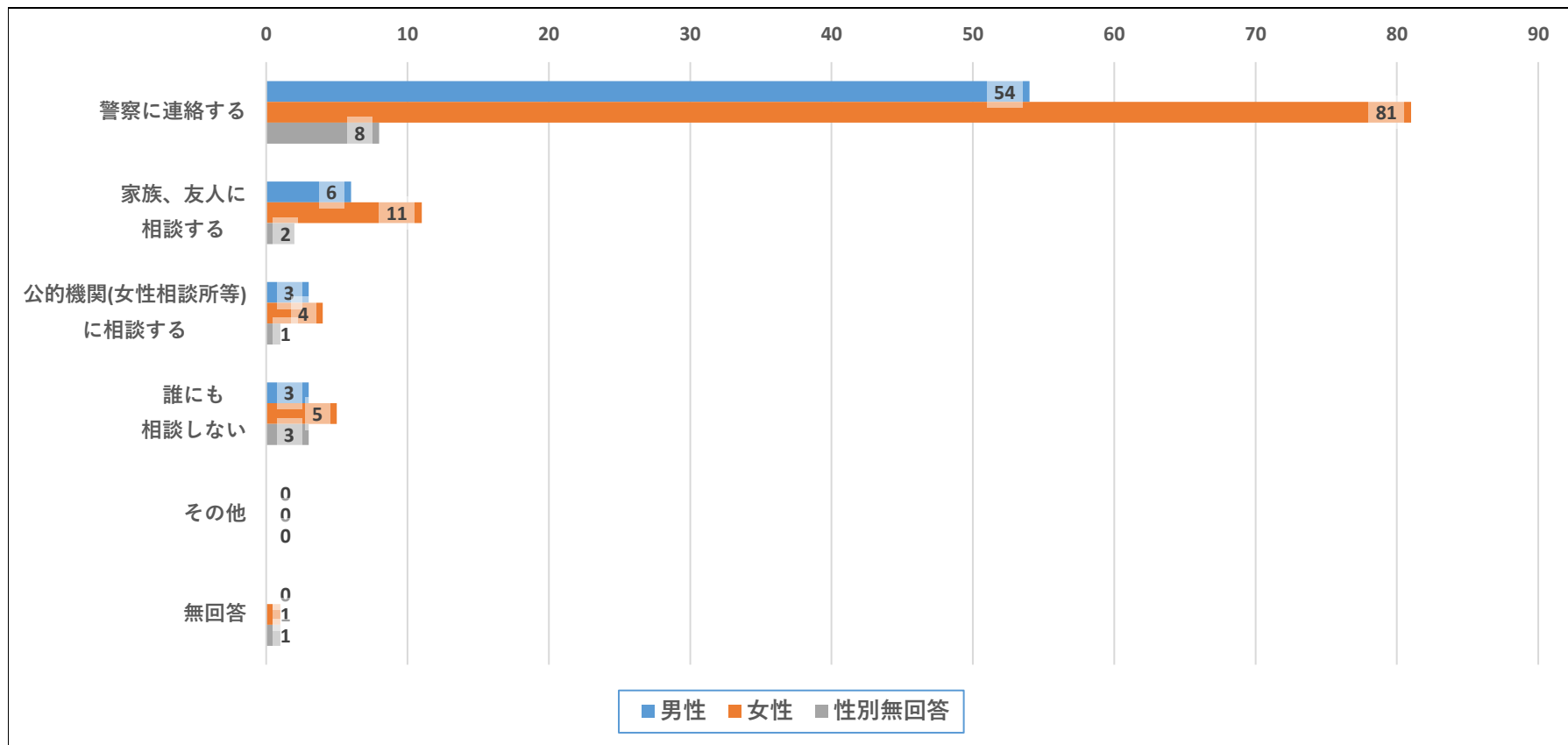
Ⅱ 9.あなたは配偶者(元夫・元妻を含む)や恋人からの精神的・肉体的暴力(DV)を受けたことがありますか。

	ある	ない	無回答	計
男性	5	64	2	71
女性	27	77	2	106
性別無回答	4	14	1	19
総計	36	155	5	196



Ⅱ 10.質問9でDVを受けたことがあると答えた方で、そのような時はどのように対処していますか。

	警察に連絡する	家族、友人に相談する	公的機関(女性相談所等)に相談する	誰にも相談しない	その他	無回答	計
男性	54	6	3	3	0	0	66
女性	81	11	4	5	0	1	102
性別無回答	8	2	1	3	0	1	15
計	143	19	8	11	0	2	183



II_10.記述回答

- 男性○ ・DVしてきた相手にやり返す（40代）

- 女性○ ・（「誰にも相談しない」を選択の上）私も、相手に対してDVをしてしまったと自覚しているからです（50代）
 - ・実家に帰ってた（相手が反省するまで）（60代）

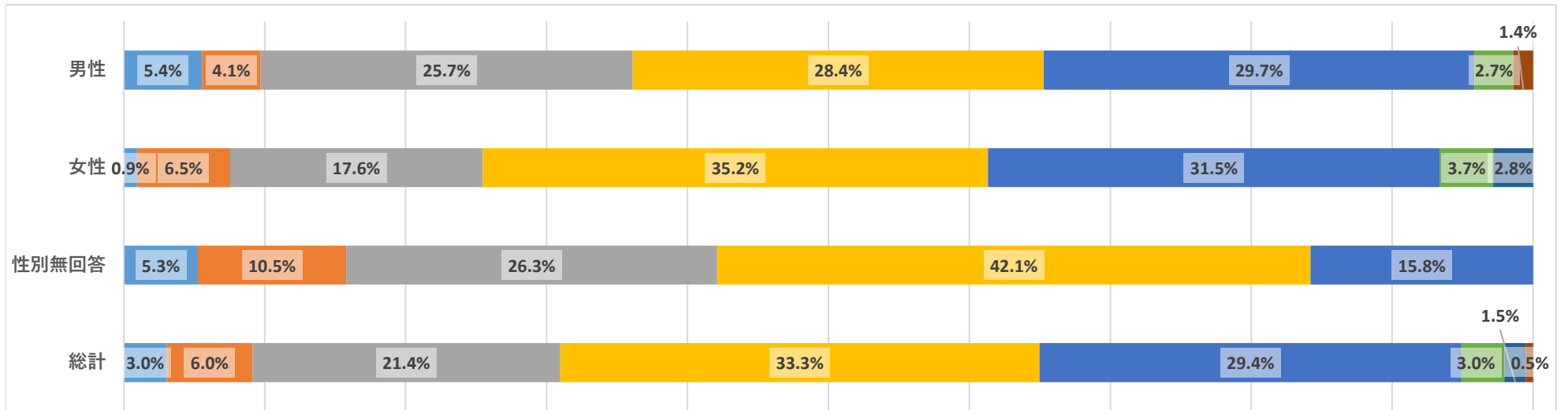
- 性別無回答○ ・公的機関や警察周りに相談したが、受ける人が悪いとはっきり言われたので、この世の全ての人を当てにしないことに決めた（40代）

Ⅲ 自立について

1.あなたは「女性の結婚」についてどう思いますか。1つ選んでください。（複数回答者あり）

	女性の幸せは結婚にあるのだから、結婚した方がよい	精神的にも経済的にも安定するのだから、結婚した方がよい	家庭を持ち、子どもをもうけるのは自然のことだから、結婚した方がよい	結婚するしないは、個人の自由であるからどちらでもよい	結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ無理に結婚しなくてもよい	自立できればあえて結婚しなくてもよい	結婚は女性の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい	わからない	その他	無解答	計
男性	4	3	19	21	22	2	0	0	2	1	74
女性	1	7	19	38	34	4	0	3	2	0	108
性別無回答	1	2	5	8	3	0	0	0	0	0	19
計	6	12	43	67	59	6	0	3	4	1	201

【割合】	女性の幸せは結婚にあるのだから、結婚した方がよい	精神的にも経済的にも安定するのだから、結婚した方がよい	家庭を持ち、子どもをもうけるのは自然のことだから、結婚した方がよい	結婚するしないは、個人の自由であるからどちらでもよい	結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ無理に結婚しなくてもよい	自立できればあえて結婚しなくてもよい	結婚は女性の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい	わからない	その他	無解答
男性	5.4%	4.1%	25.7%	28.4%	29.7%	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	1.4%
女性	0.9%	6.5%	17.6%	35.2%	31.5%	3.7%	0.0%	2.8%	1.9%	0.0%
性別無回答	5.3%	10.5%	26.3%	42.1%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	3.0%	6.0%	21.4%	33.3%	29.4%	3.0%	0.0%	1.5%	2.0%	0.5%



- 女性の幸せは結婚にあるのだから、結婚した方がよい
- 精神的にも経済的にも安定するのだから、結婚した方がよい
- 家庭を持ち、子どもをもうけるのは自然のことだから、結婚した方がよい
- 結婚するしないは、個人の自由であるからどちらでもよい
- 結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ無理に結婚しなくてもよい
- 自立できればあえて結婚しなくてもよい
- わからない
- 無解答

Ⅲ_1.記述回答

- 男性○
 - ・国や社会としては結婚して子どもを授かって家族の単位を増やすべきだとは思いますが、基本個人の好きにさせたら良いと思います。
「女性の結婚」という前提からして、既に男性優位の裏返しみたいなものだと思う（30代男性）
 - ・自立を優先するために結婚をしないとは簡単に考えない方が良いと思う（50代男性）

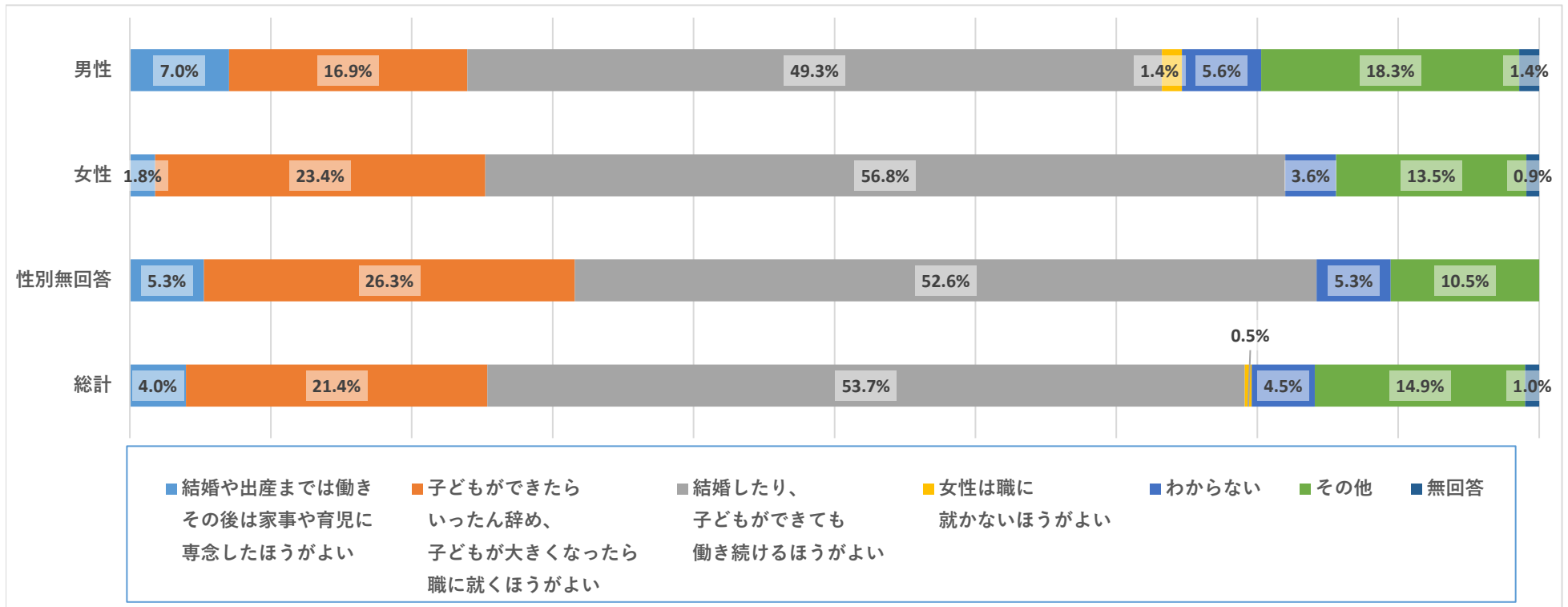
- 女性○
 - ・現実には結婚しないと後見人制度で住みにくい（60代）
 - ・昔は「家庭を持ち子どもをもうけるのは自然のことだから結婚した方が良い」と思っていたが、結婚してから
「自立できればあえて結婚しなくても良い」「結婚は女性の自由を束縛するものだから一生結婚しない方が良い」に変わった（30代）

Ⅲ 2.女性が職業を持つことについて、どう思いますか。（複数回答者あり）

	結婚や出産までは働き その後は家事や育児に 専念したほうがよい	子どもができた いったん辞め、 子どもが大きくなったら 職に就くほうがよい	結婚したり、 子どもができて 働き続けるほうがよい	女性は職に 就かないほうがよい	わからない	その他	無回答	計
男性	5	12	35	1	4	13	1	71
女性	2	26	63	0	4	15	1	111
性別無回答	1	5	10	0	1	2	0	19
計	8	43	108	1	9	30	2	201

【割合】

	結婚や出産までは働き その後は家事や育児に 専念したほうがよい	子どもができた いったん辞め、 子どもが大きくなったら 職に就くほうがよい	結婚したり、 子どもができて 働き続けるほうがよい	女性は職に 就かないほうがよい	わからない	その他	無回答
男性	7.0%	16.9%	49.3%	1.4%	5.6%	18.3%	1.4%
女性	1.8%	23.4%	56.8%	0.0%	3.6%	13.5%	0.9%
性別無回答	5.3%	26.3%	52.6%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%
総計	4.0%	21.4%	53.7%	0.5%	4.5%	14.9%	1.0%



Ⅲ_2.記述回答

- 男性○
- ・その家庭によって状況は異なるので一概には言えない（20代）
 - ・本人の思うままに。働きたいなら働いて、家事や育児に専念したいと思うならそのように（30代）
 - ・好きにしたら良い。責任を持たせて、本人が自覚して、あとは自治体レベルのお金のサポート、補助を周知したら良い（30代）
 - ・家庭環境による（30代）
 - ・個人の自由であり、「○○するほうがよい」とは思わない（30代）
 - ・職に就きたいという気持ちがあるなら職に就いて良いと思う（30代）
 - ・それぞれの夫婦がお互いの意思を尊重して決めれば良い。
ただ、お互いの意思を尊重したつもりになっているだけで結局、女性が我慢をしないといけないという状況が多そう（30代）
 - ・特に決めつけずそのときに相手と話して決めれば良い（30代）
 - ・本人やパートナーの状況により、本人が判断することであるので、他人がどう思うかは問題ない（40代）
 - ・その家庭にあった働き方を相談し考えれば良い（40代）
 - ・家庭により決める（50代）
 - ・出来れば男性・女性どちらかが子どもと一緒にいた方が良い。共働きしないように政府が考えるのが先のこと（50代）
 - ・家庭の事情にもよるが、子育てが大事ですので相談して決める（60代）
- 女性○
- ・各家庭や個人の考えによると思うので、上記どれとも言い難い。その時ベストだと思う選択ならなんだったって良いと思う（20代）
 - ・人それぞれ。男女関係ない（20代）
 - ・結婚や出産をして、仕事をしたい人もいるし、家庭に専念したい人もいる。どちらの選択もありかと思う（20代）
 - ・その人の考え方や夫婦で話し合ったり、各家庭や個人で決めたら良いと思う。私自身は子育てしながら働いています（30代）
 - ・特に何も思わない。生活のために必要なら働きます（30代）
 - ・この質問自体に疑問を感じる（30代）
 - ・（「子どもができたら一旦辞め、子どもが大きくなったら職に就くほうが良い」を選択の上）
夫が家事、育児を協力しないワンオペ状態だから仕事しながら一人では難しい（30代）
 - ・仕事をしたい女性は仕事をすれば良いし、家事育児が好きな女性はそれに専念すれば良い。女性が皆同じでなくて良い（40代）
 - ・働きたければ働き家事をやりたければ家事をやれば良いと思う（40代）

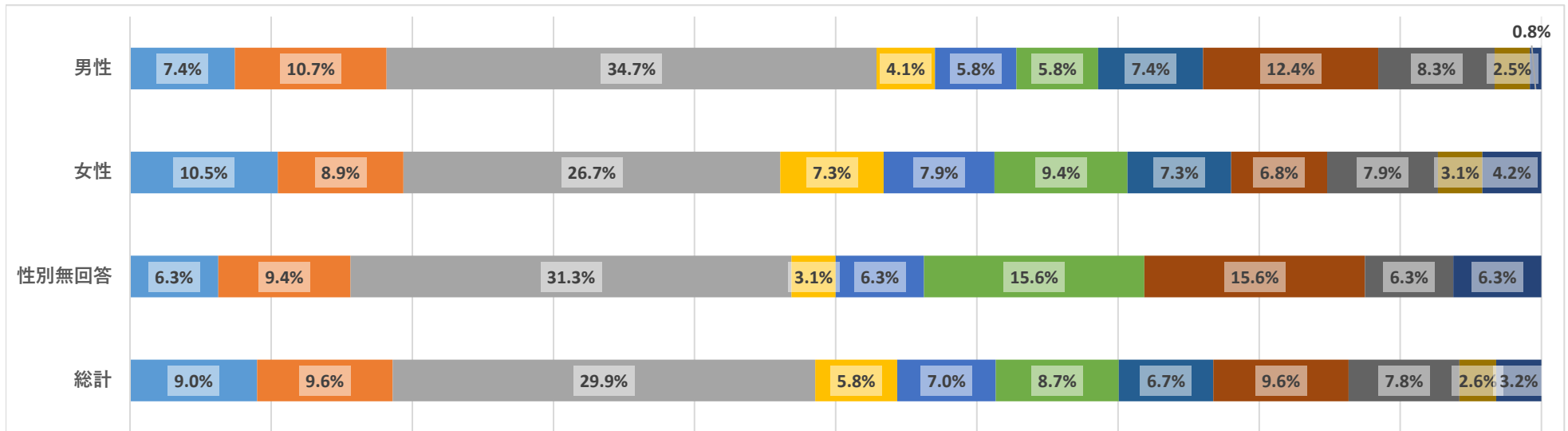
- 女性続き○
 - ・配偶者と相談してそのときの状況で判断すればいいと思う（50代）
 - ・（「結婚したり、子どもができて働き続けるほうがよい」を選択の上）
経済的に安定していて、育児に専念したいと思うなら、働かなくても良いと思う（50代）
 - ・仕事、育児、家事は女性ばかりが負担するのではなく、家族の協力あってのものだと思うので、ワークライフバランスを上手に出来るのなら働いていたほうが良いと思いますが、男性が家事全般、女性が外で働くのもありかと思います（50代）
 - ・（「結婚したり、子どもができて働き続けるほうがよい」を選択の上）ただし、家族のサポート必要（50代）
 - ・個人（家庭）の事情がある、決めつけなくてもいいと思う（60代）
 - ・経済的にも自立する必要があるため働いたほうが良いと思います（60代）
 - ・子どもができたら育児休暇とかをとったりして働き続けたほうが良い（60代）
 - ・本人の生き方による（70代以上）
 - ・人により状況は違ってくるので、こうすればよいという考えはない（年代不明）

- 性別無回答○
 - ・その時の家庭の事情で決める（60代）
 - ・本人の自由（60代）

Ⅲ 3.現在働いているのは何のためですか。2つ選んでください。

	仕事が好き	自分の能力、 技術を活かしたい	生計を維持する ため	住宅資金や ローン返済の ため	子どもの学費の ため	老後の蓄えのため	自分で自由に 使えるお金が 欲しいから	働くのは 人間として 当たり前	働いていない	その他	無回答	計
男性	9	13	42	5	7	7	9	15	10	3	1	121
女性	20	17	51	14	15	18	14	13	15	6	8	191
性別無回答	2	3	10	1	2	5	0	5	2	0	2	32
計	31	33	103	20	24	30	23	33	27	9	11	344

【割合】	仕事が好き	自分の能力、 技術を活かしたい	生計を維持する ため	住宅資金や ローン返済の ため	子どもの学費の ため	老後の蓄えのため	自分で自由に 使えるお金が 欲しいから	働くのは 人間として 当たり前	働いていない	その他	無回答
男性	7.4%	10.7%	34.7%	4.1%	5.8%	5.8%	7.4%	12.4%	8.3%	2.5%	0.8%
女性	10.5%	8.9%	26.7%	7.3%	7.9%	9.4%	7.3%	6.8%	7.9%	3.1%	4.2%
性別無回答	6.3%	9.4%	31.3%	3.1%	6.3%	15.6%	15.6%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%
総計	9.0%	9.6%	29.9%	5.8%	7.0%	8.7%	6.7%	9.6%	7.8%	2.6%	3.2%



■ 仕事が好き ■ 自分の能力、技術を活かしたい ■ 生計を維持するため ■ 住宅資金やローン返済のため ■ 子どもの学費のため ■ 老後の蓄えのため ■ 自分で自由に使えるお金が欲しいから ■ 働くのは人間として当たり前 ■ 働いていない ■ その他 ■ 無回答

Ⅲ_3.記述回答

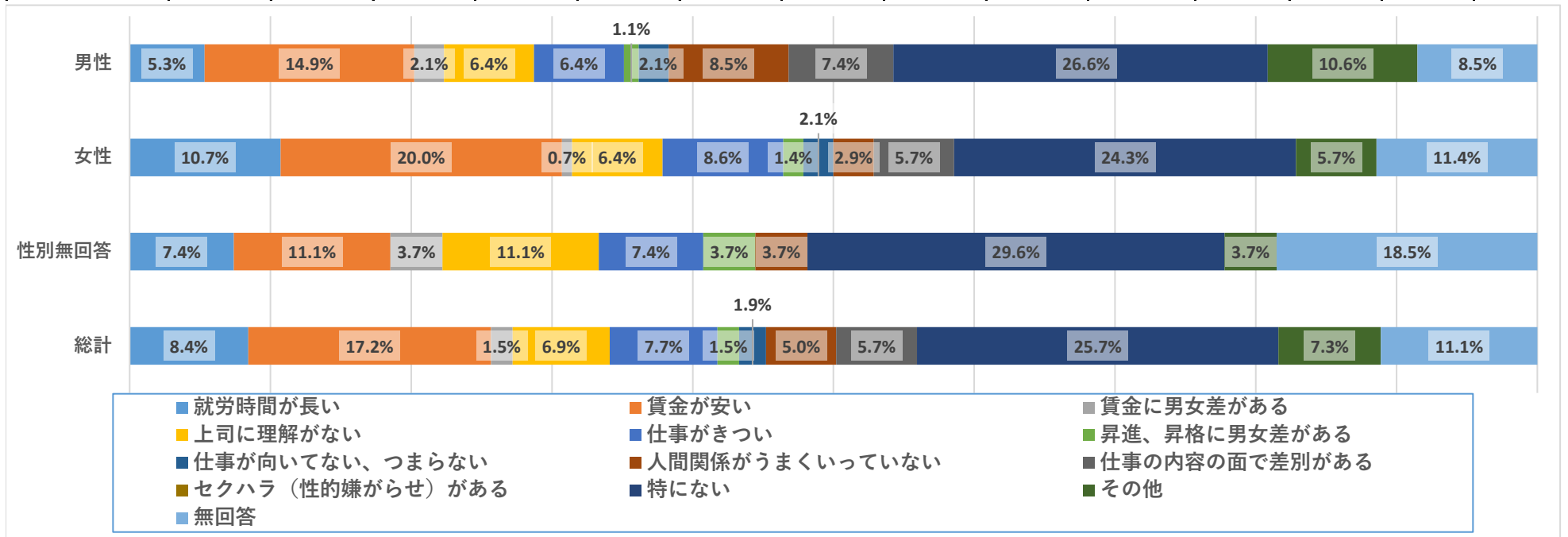
- 男性○
 - ・自分の学費のため（20代）
 - ・生活していくため、より良く生きるため（30代）
 - ・体を元気にするため（70代以上）

- 女性○
 - ・社会的繋がりが欲しいから（20代）
 - ・なんとなく（20代）
 - ・家族のため（30代）
 - ・モチベーションの維持・社会との繋がり（50代）

Ⅲ 4.あなたが仕事をする上で職場での悩みや不安はありますか。3つ以内選んでください。

	就労時間が長い	賃金が安い	賃金に男女差がある	上司に理解がない	仕事がつい	昇進、昇格に男女差がある	仕事に向いてない、つまらない	人間関係がうまくいっていない	仕事の内容の面で差別がある	セクハラ（性的嫌がらせ）がある	特にな	その他	無回答	計
男性	5	14	2	6	6	1	2	8	7	0	25	10	8	94
女性	15	28	1	9	12	2	3	4	8	0	34	8	16	140
性別無回答	2	3	1	3	2	1	0	1	0	0	8	1	5	27
計	22	45	4	18	20	4	5	13	15	0	67	19	29	261

【割合】	就労時間が長い	賃金が安い	賃金に男女差がある	上司に理解がない	仕事がつい	昇進、昇格に男女差がある	仕事に向いてない、つまらない	人間関係がうまくいっていない	仕事の内容の面で差別がある	セクハラ（性的嫌がらせ）がある	特にな	その他	無回答
男性	5.3%	14.9%	2.1%	6.4%	6.4%	1.1%	2.1%	8.5%	7.4%	0.0%	26.6%	10.6%	8.5%
女性	10.7%	20.0%	0.7%	6.4%	8.6%	1.4%	2.1%	2.9%	5.7%	0.0%	24.3%	5.7%	11.4%
性別無回答	7.4%	11.1%	3.7%	11.1%	7.4%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	29.6%	3.7%	18.5%
総計	8.4%	17.2%	1.5%	6.9%	7.7%	1.5%	1.9%	5.0%	5.7%	0.0%	25.7%	7.3%	11.1%



Ⅲ_4.記述回答

- 男性○
 - ・仕事の出来る出来ないに関わらず上司の給与が高い（30代）
 - ・上司からのパワハラ（30代）
 - ・上司は基本的にミス認めない。他の社員に責任を丸投げする（30代）
 - ・税金が高いことが悩み（50代）
 - ・経営者の考え方を人材育成等の視点に変えなければならない（70代）
 - ・働いていないのでわからない（60代1名、70代3名）

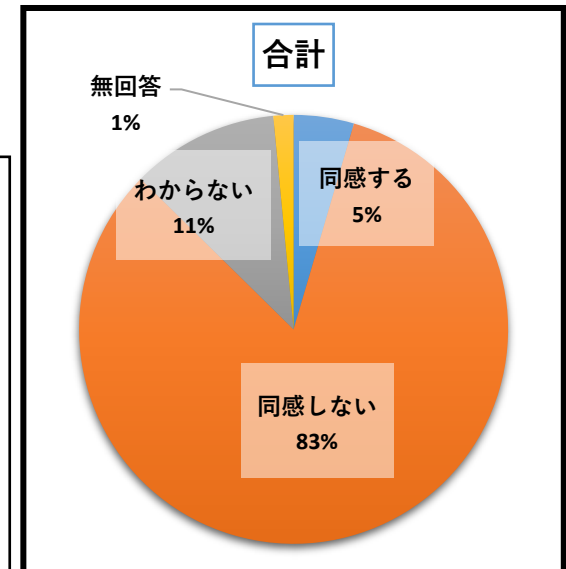
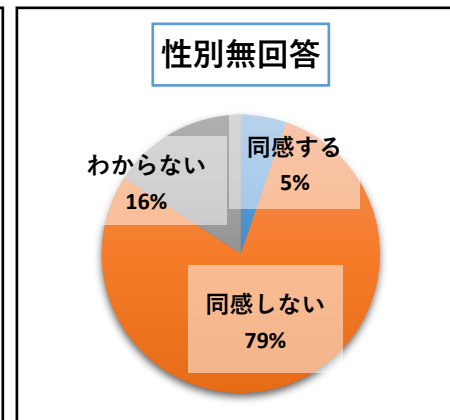
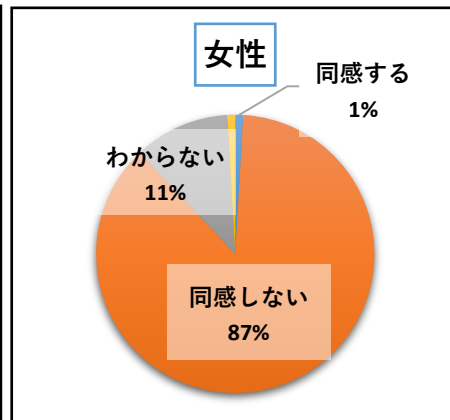
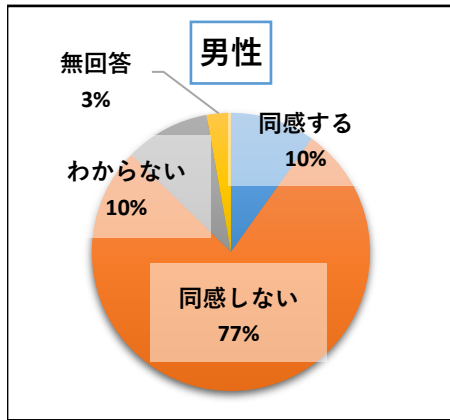
- 女性○
 - ・持ち帰りの仕事が多い（20代）
 - ・シフト制で日、祝も仕事があるので、仕事にあたると子どもを預けるところがない時があり困る（30代）
 - ・子育てを優先できない場面があり、子どもに負担をかけること（30代）
 - ・家庭との両立への理解（30代）
 - ・分からないことなど、自分で勉強したり調べたりするのが当たり前なので、上司・同僚に質問できない、またはしづらい（30代）
 - ・時間的拘束（40代）
 - ・非正規雇用である（40代）
 - ・地域の役に立ちたい（60代）

- 性別無回答○
 - ・技術を必要とする仕事をしているが、技術を有しない職員と時給が一緒なのが不満（30代）
 - ・働いてない（40代）

IV 共同参画について

1. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、このことについて、あなたはどのように思いますか。（複数回答者あり）

	同感する	同感しない	わからない	無回答	計
男性	7	55	7	2	71
女性	1	94	12	1	108
性別無回答	1	15	3	0	19
総計	9	164	22	3	198

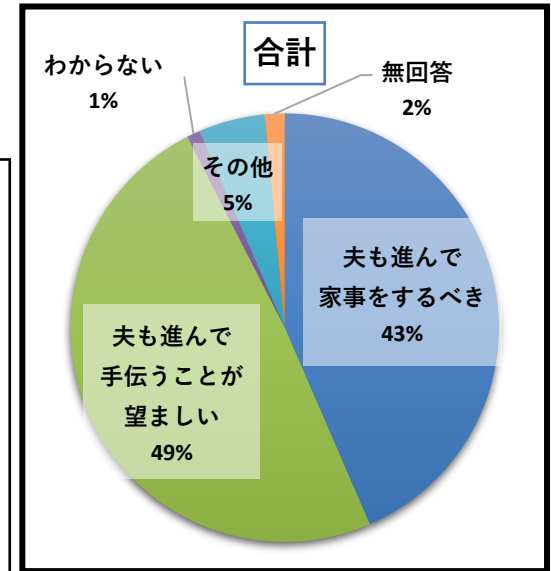
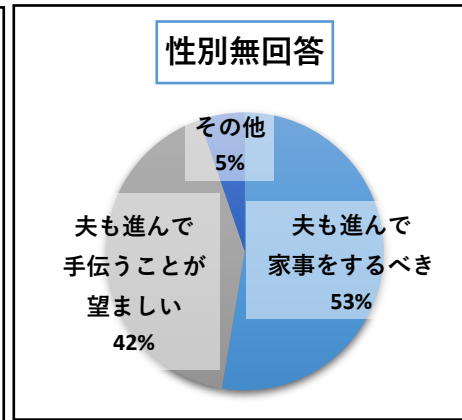
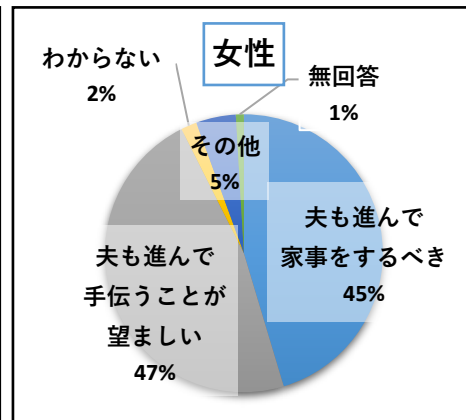
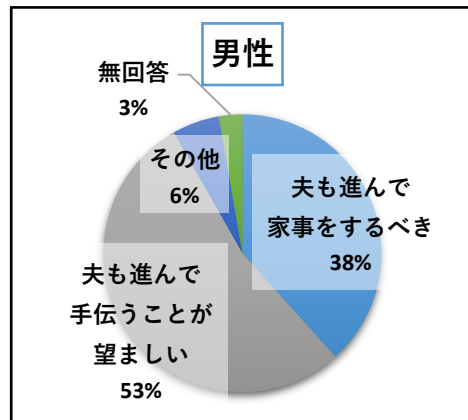


IV_1.記述回答

○男性○ ・（無回答の上）この考えの前提、本質自体が問題だと思う（30代）

Ⅳ 2.家事を夫が手伝うことについて、あなたはどのように思いますか。

	夫も進んで家事をするべき	夫は家事を手伝うべきではない	夫も進んで手伝うことが望ましい	わからない	その他	無回答	計
男性	28	0	39	0	4	2	73
女性	49	0	51	2	5	1	108
性別無回答	10	0	8	0	1	0	19
総計	87	0	98	2	10	3	200



IV_2.記述回答

- 男性○
 - ・手伝うという表現を使っていること自体が女性差別をしていると考える。家事についてはその世帯構成員皆で負担すべきである（20代）
 - ・夫婦間の話し合いと心の機微を感じ取る努力が必要と思う（30代）
 - ・夫が家事をしないことが理解できない。夫だけでなく、子どもも含めて家族皆で分担すべき（30代）
 - ・（質問の”手伝う”という部分に関し）この表現の時点で「家事は女性がすべき」という意識が入っているように思います（30代）
 - ・（「夫も進んで手伝うことが望ましい」を選択の上）家庭による役割で多少変わると思う（50代）

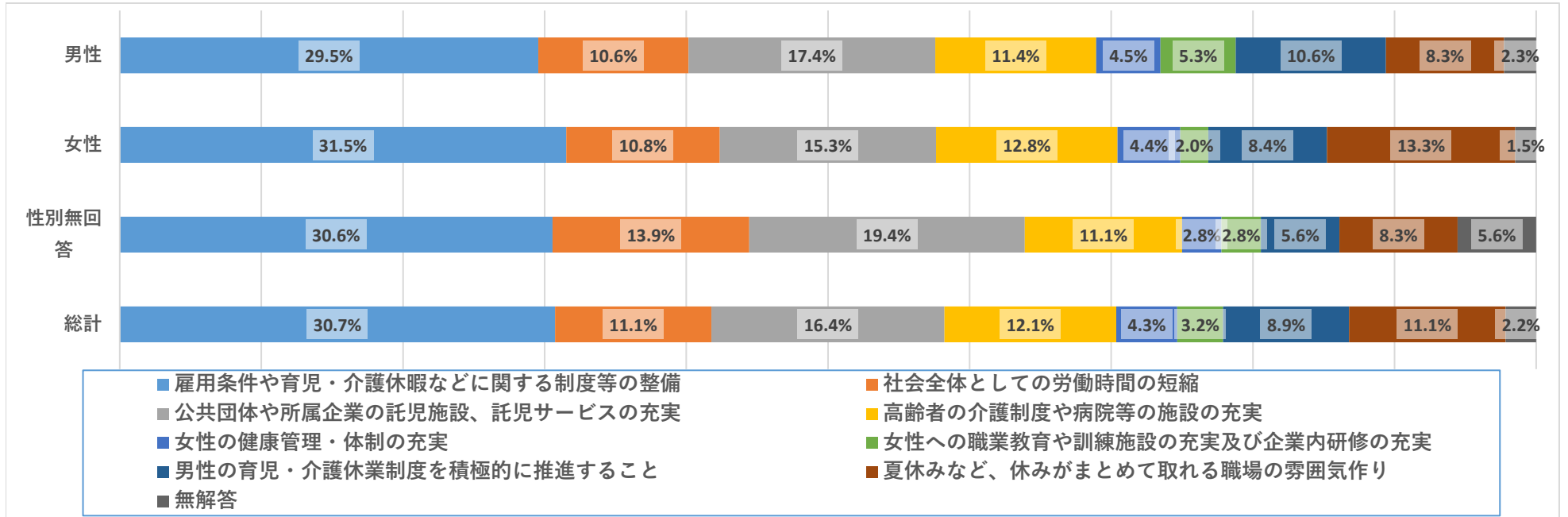
- 女性○
 - ・まず、手伝うという感覚自体がおかしいと思う。共働きなので分担してやってもらえないと困ります（30代）
 - ・共に住んでいるのだから手伝うではなく生活の一部としてすべき当たり前のことだと思います。
子育ても家事も楽しんでやって頂きたい（30代）
 - ・そもそも手伝うという考え方がおかしい。人間が生活する上で家事は必要なこと。2人で得意なことをそれぞれするのか、片方がする方がいいのか、お金で誰かに家事をやってもらうのか、各家庭ごとに違うはず（30代）
 - ・手伝うという表現がそもそも適していない（30代）
 - ・やりたければやればいい。（40代）
 - ・「家事を手伝う」という質問自体に疑問を感じる。家事は性差で行うものではない。
家のことはできれば家族の理解と協力で行うのが理想（50代）

- 性別無回答○
 - ・家庭それぞれの考え方次第。私は、手伝ってもらえると助かると思っています。また、協力的な夫で助かっている（40代）

Ⅳ 3.女性が仕事を続けていくために、社会や企業に対してどのような制度の改善や充実を期待しますか。2つ以内選んでください。

	雇用条件や育児・介護休暇などに関する制度等の整備	社会全体としての労働時間の短縮	公共団体や所属企業の託児施設、託児サービスの充実	高齢者の介護制度や病院等の施設の充実	女性の健康管理・体制の充実	女性への職業教育や訓練施設の充実及び企業内研修の充実	男性の育児・介護休業制度を積極的に推進すること	夏休みなど、休みがまとめて取れる職場の雰囲気作り	無解答	計
男性	39	14	23	15	6	7	14	11	3	132
女性	64	22	31	26	9	4	17	27	3	203
性別無回答	11	5	7	4	1	1	2	3	2	36
計	114	41	61	45	16	12	33	41	8	371

【割合】	雇用条件や育児・介護休暇などに関する制度等の整備	社会全体としての労働時間の短縮	公共団体や所属企業の託児施設、託児サービスの充実	高齢者の介護制度や病院等の施設の充実	女性の健康管理・体制の充実	女性への職業教育や訓練施設の充実及び企業内研修の充実	男性の育児・介護休業制度を積極的に推進すること	夏休みなど、休みがまとめて取れる職場の雰囲気作り	無解答
男性	29.5%	10.6%	17.4%	11.4%	4.5%	5.3%	10.6%	8.3%	2.3%
女性	31.5%	10.8%	15.3%	12.8%	4.4%	2.0%	8.4%	13.3%	1.5%
性別無回答	30.6%	13.9%	19.4%	11.1%	2.8%	2.8%	5.6%	8.3%	5.6%
総計	30.7%	11.1%	16.4%	12.1%	4.3%	3.2%	8.9%	11.1%	2.2%



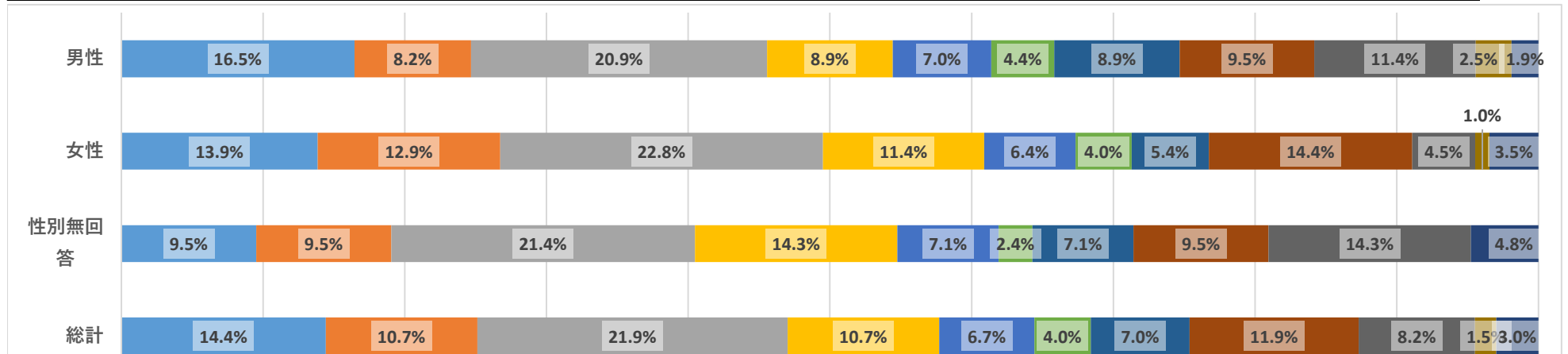
IV_3.記述回答

- 男性○ ・女性優先の制度を家庭にも職場にも浸透させていけば良い（30代）
- ・（無回答の上）まずは政府が企業に投げるのではなく、自分たちが何かしてから始めるべきだと思う（50代）

Ⅳ 4.男女共同参画を目指して、今後行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

	学校において男女平等や人権教育を積極的に推進する	社会教育・生涯教育の場で男女共同参画に関する学習を充実させる	保育サービスや学童保育などの子育て支援を充実させる	介護サービスの充実を図る	職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する	広報誌や講演会等により男女平等と相互理解に関する啓発を行う	各種委員会や審議会等へ女性を積極的に登用する	女性の就労支援を充実させる	女性の管理職への登用を積極的に行う	その他	無解答	計
男性	26	13	33	14	11	7	14	15	18	4	3	158
女性	28	26	46	23	13	8	11	29	9	2	7	202
性別無回答	4	4	9	6	3	1	3	4	6	0	2	42
計	58	43	88	43	27	16	28	48	33	6	12	402

【割合】	学校において男女平等や人権教育を積極的に推進する	社会教育・生涯教育の場で男女共同参画に関する学習を充実させる	保育サービスや学童保育などの子育て支援を充実させる	介護サービスの充実を図る	職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する	広報誌や講演会等により男女平等と相互理解に関する啓発を行う	各種委員会や審議会等へ女性を積極的に登用する	女性の就労支援を充実させる	女性の管理職への登用を積極的に行う	その他	無解答
男性	16.5%	8.2%	20.9%	8.9%	7.0%	4.4%	8.9%	9.5%	11.4%	2.5%	1.9%
女性	13.9%	12.9%	22.8%	11.4%	6.4%	4.0%	5.4%	14.4%	4.5%	1.0%	3.5%
性別無回答	9.5%	9.5%	21.4%	14.3%	7.1%	2.4%	7.1%	9.5%	14.3%	0.0%	4.8%
総計	14.4%	10.7%	21.9%	10.7%	6.7%	4.0%	7.0%	11.9%	8.2%	1.5%	3.0%



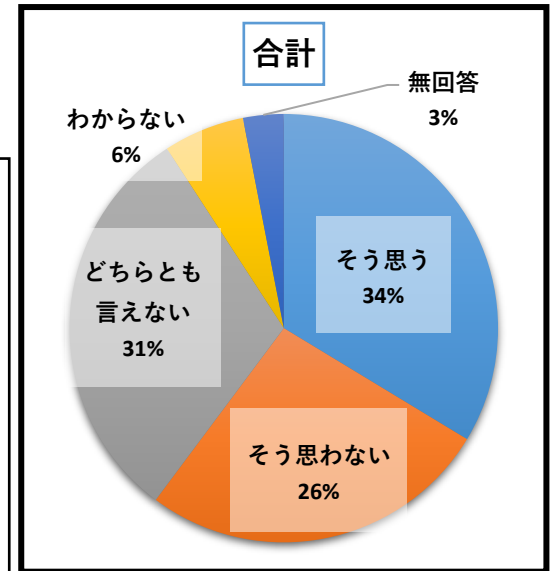
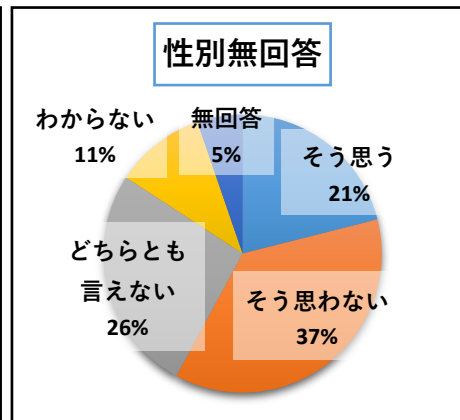
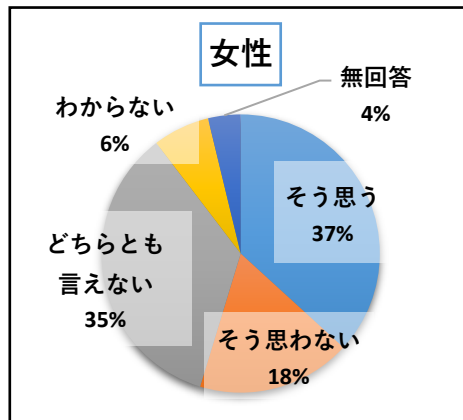
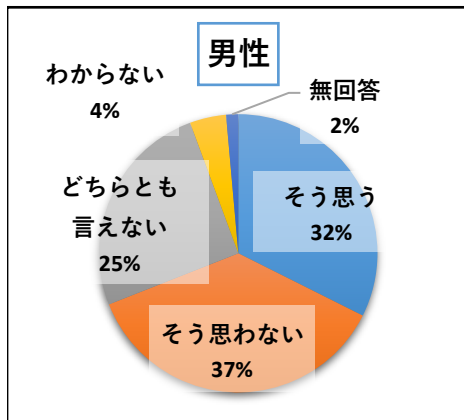
- 学校において男女平等や人権教育を積極的に推進する
- 社会教育・生涯教育の場で男女共同参画に関する学習を充実させる
- 保育サービスや学童保育などの子育て支援を充実させる
- 介護サービスの充実を図る
- 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する
- 広報誌や講演会等により男女平等と相互理解に関する啓発を行う
- 各種委員会や審議会等へ女性を積極的に登用する
- 女性の就労支援を充実させる
- 女性の管理職への登用を積極的に行う
- その他
- 無解答

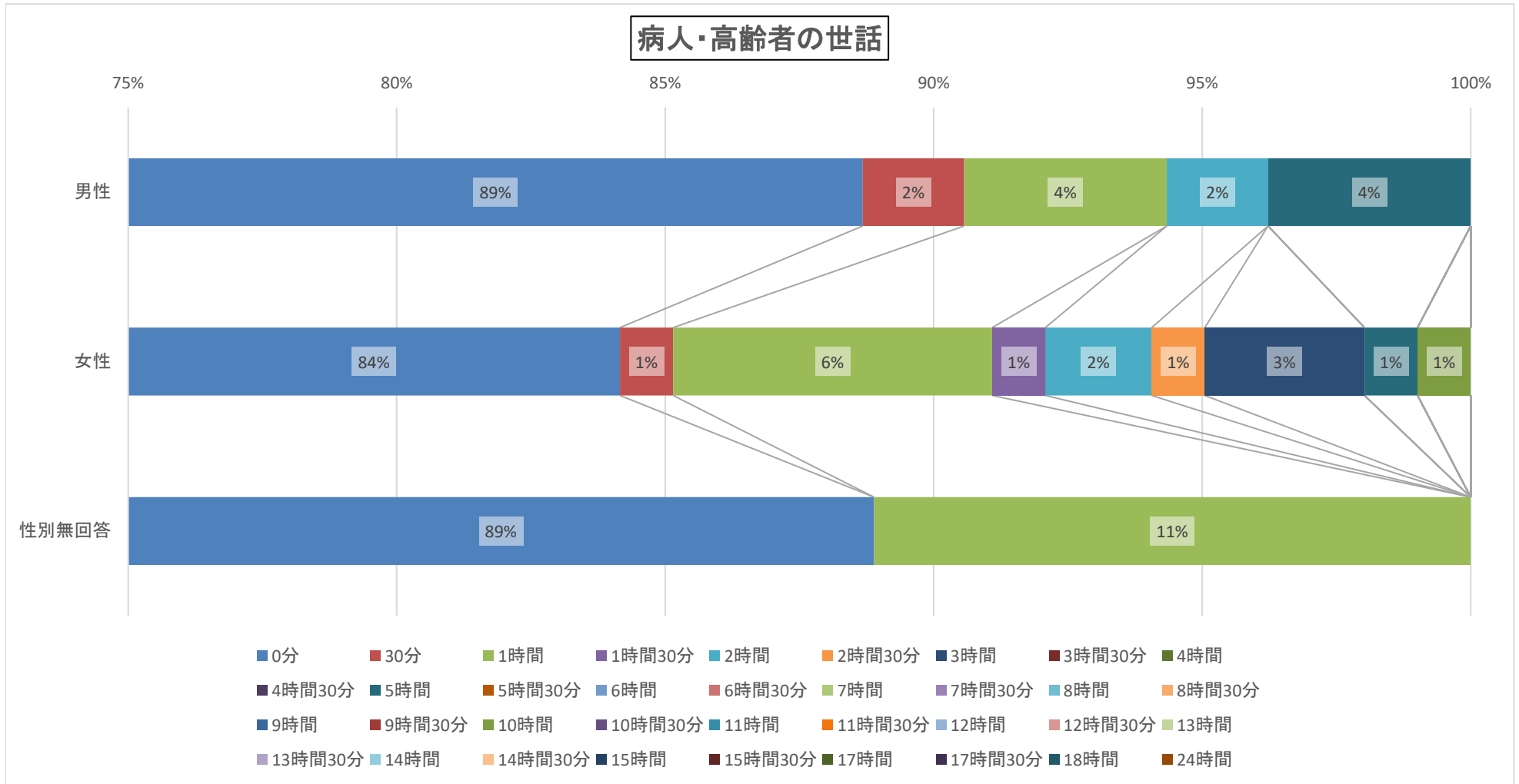
IV_4.記述回答

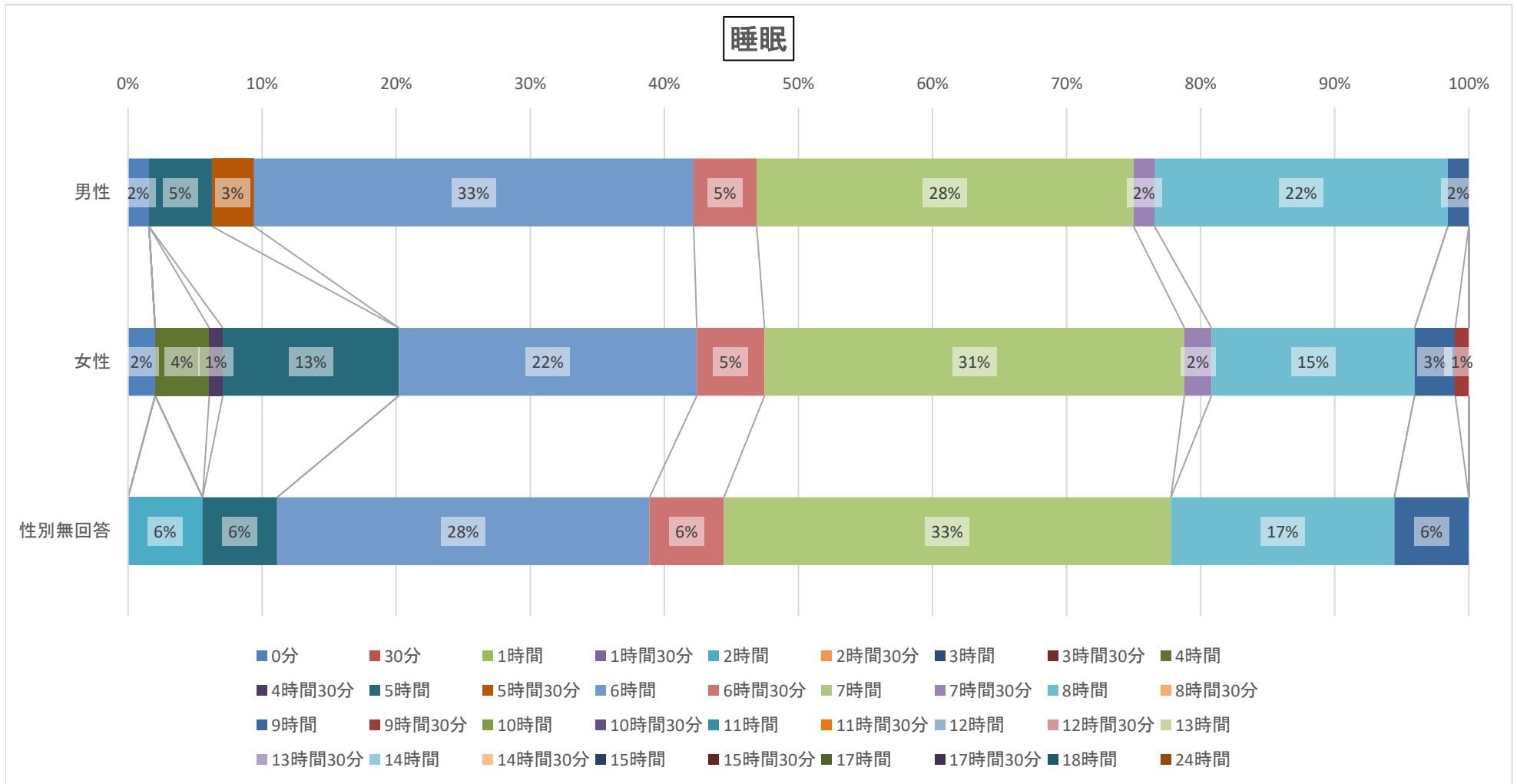
- 男性○
- ・50代以上のセクハラ、パワハラを無くせば男女共同参画ができる（30代）
 - ・周知、世の中が変わっていくという認識（30代）
 - ・教育関係の仕事をしていますが、宮古島の子ども達の学力の低さに非常に驚き、心配をしています。
将来の仕事、働き方（人生設計）などに関する教育・しつけがなされていないので、いきあたりばったりの進路決定になり、男女ともに自立できない人が多いのかなと感じます。
実際、学力が高く、教育などに意識の高い生徒は、内地で就職して宮古に戻ってきていないケースが多いです。
逆にそうでない子たちが宮古に戻って子育てをするので同じことの繰り返しになっている（30代）
↑ 選択肢の上から二つをチェックの上、他の選択肢においては
「大切なことだとは思いますが、根本的な解決にならないと思います。教育が重要だと思います」とのこと
 - ・このアンケートは、10年も20年も前にやっておく話だと思う。今の時代にやるべきことではない。
10年後に同じアンケートが出てこない方が良いではあるが、また出てきそうです（50代）
 - ・男の仕事だとされる仕事を女性が進出できるような方向性を持たせる教育（70代）
- 女性○
- ・生理休暇や男性より時短でも賃金に平等性を持つこと。身体的に男性と同時間の労働は女性は無理（40代）
 - ・このアンケート自体が女性への差別だと思う（40代）

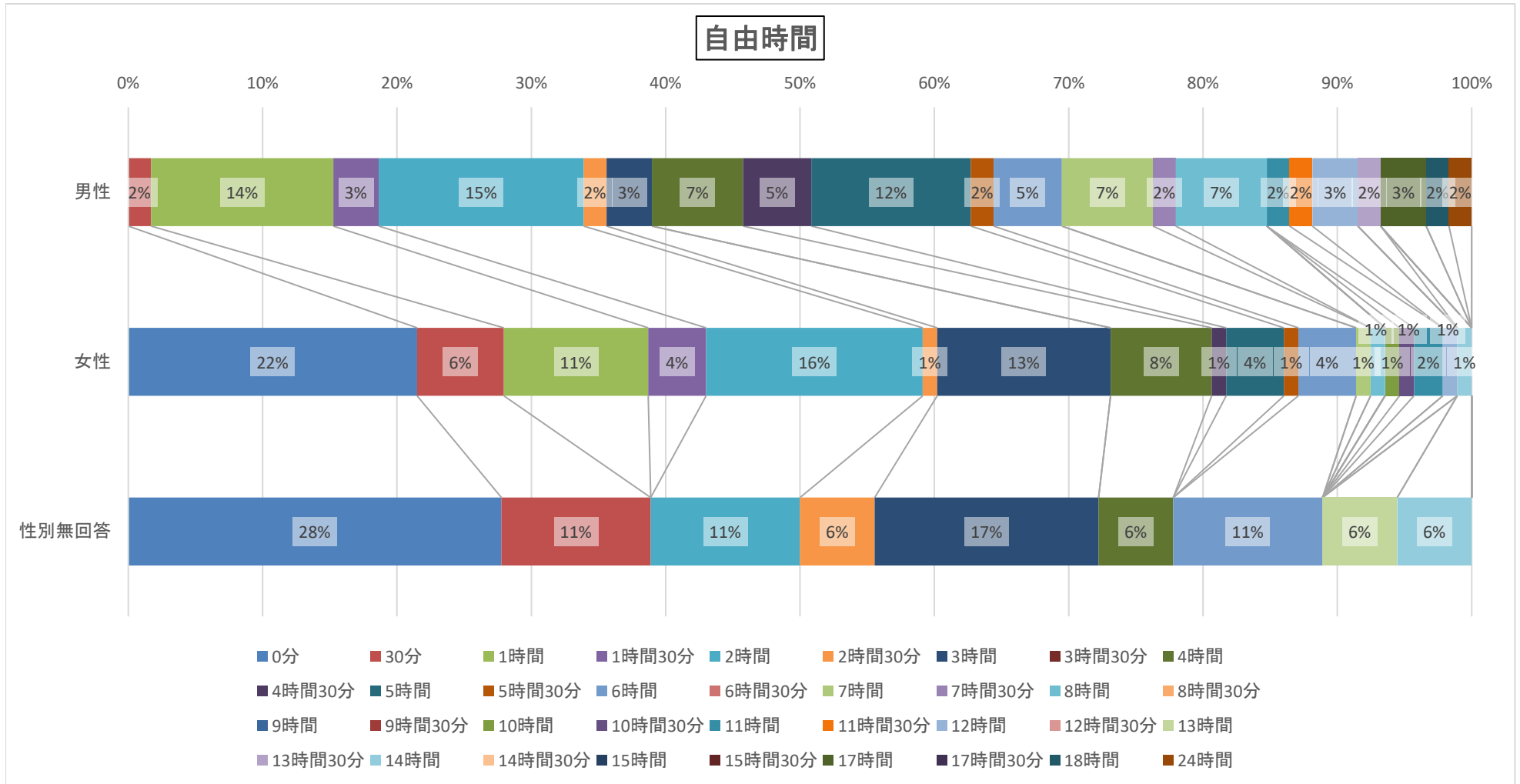
Ⅳ 5.結婚したとき、夫婦は「同じ姓を名乗る」か、あるいは「別々の姓を名乗る」かを選択できる方がよいという考え方がありますが、そのことについてあなたはどのように思いますか。

	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	わからない	無回答	計
男性	23	26	18	3	1	71
女性	39	19	37	7	4	106
性別無回答	4	7	5	2	1	19
総計	66	52	60	12	6	196









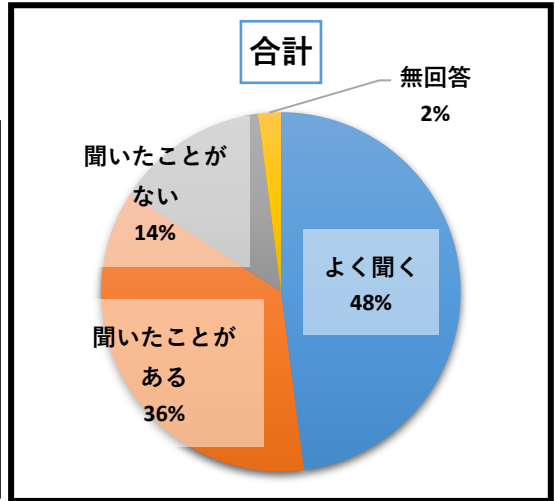
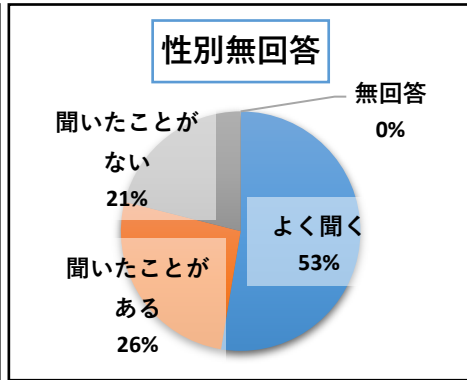
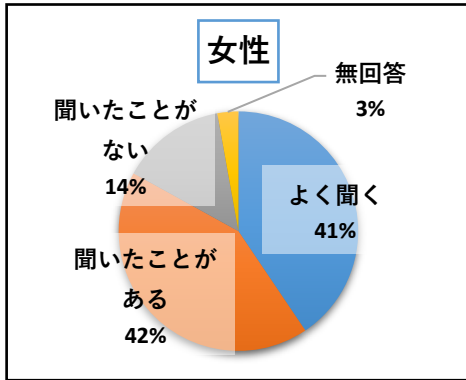
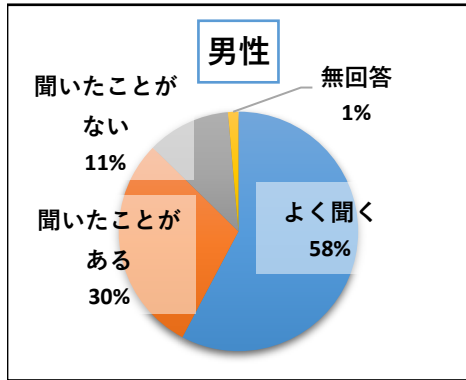
IV_4.記述回答

- 女性○ ・ (家事の項目にて) 数え切れない (30代)
- ・ (自由時間の項目にて) 赤ちゃんがいる限り自由時間はなし (30代)

VI 言葉の周知度について

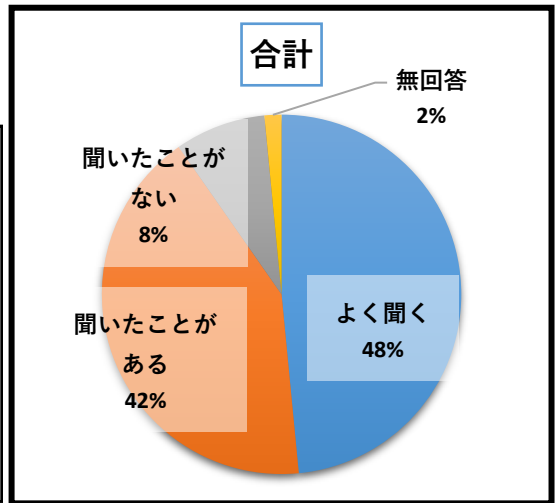
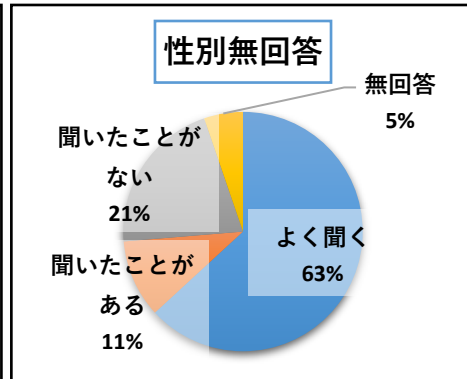
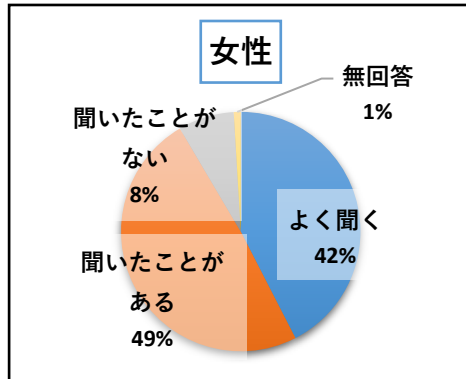
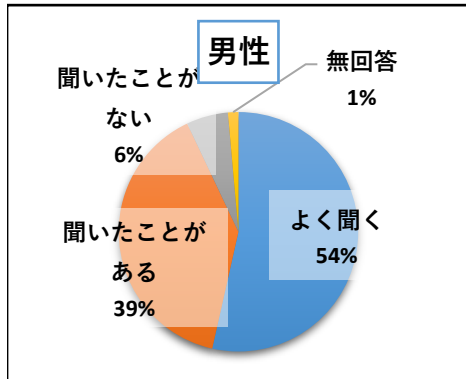
1-1 男女共同参画

	よく聞く	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答	計
男性	41	21	8	1	71
女性	43	45	15	3	106
性別無回答	10	5	4	0	19
合計	94	71	27	4	196



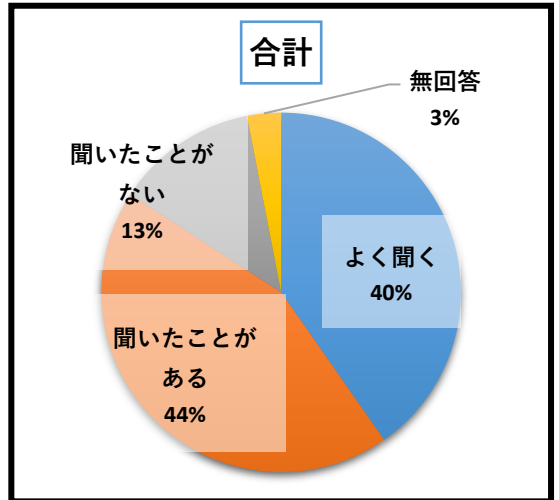
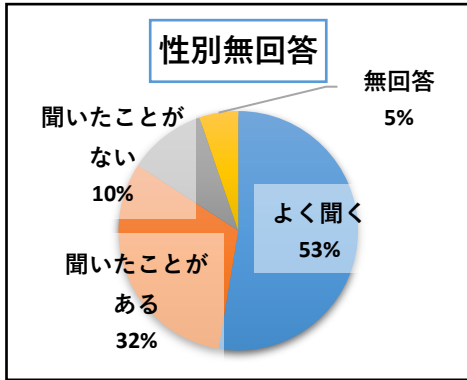
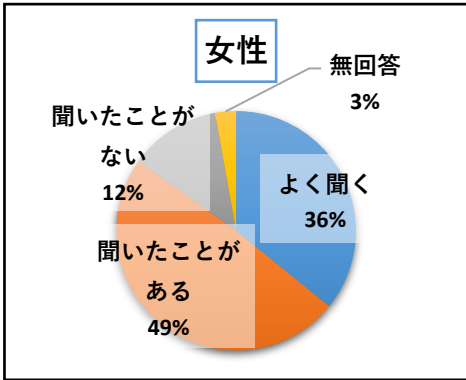
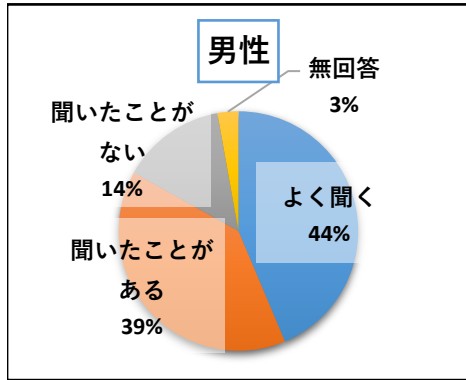
1-2 男女雇用機会均等法

	よく聞く	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答	計
男性	38	28	4	1	71
女性	45	52	8	1	106
性別無回答	12	2	4	1	19
合計	95	82	16	3	196



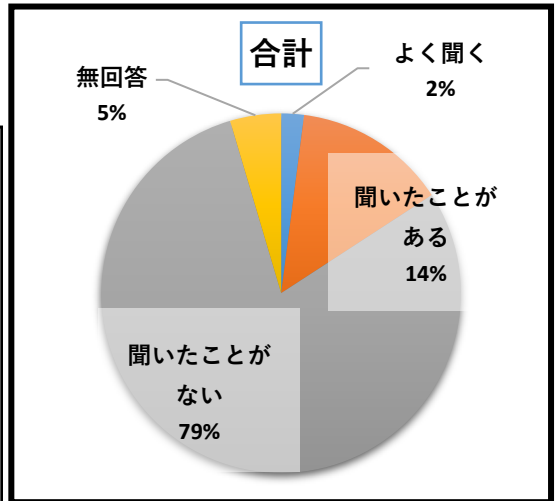
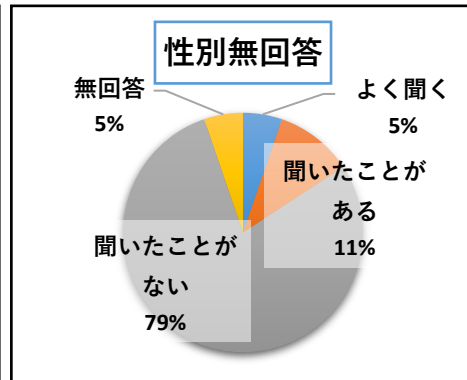
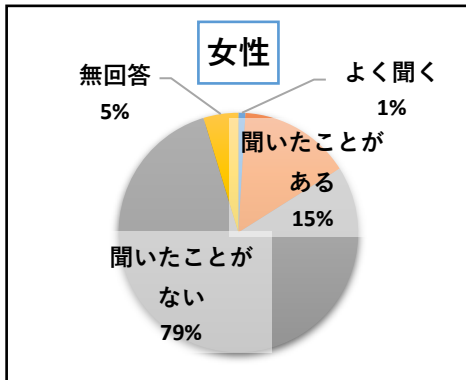
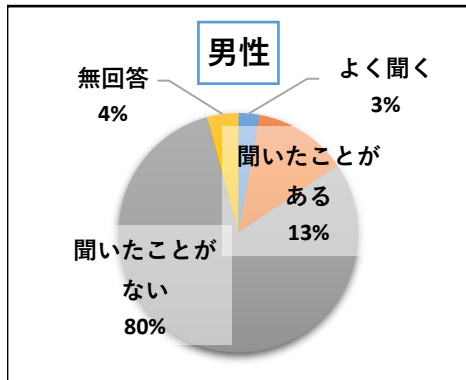
1-3 育児・介護休業法

	よく聞く	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答	計
男性	31	28	10	2	71
女性	38	52	13	3	106
性別無回答	10	6	2	1	19
合計	79	86	25	6	196



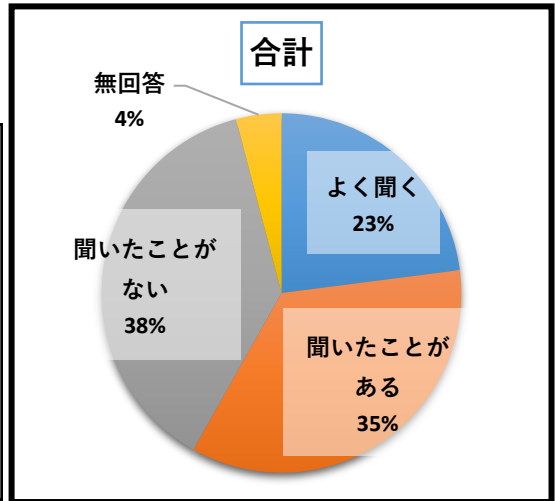
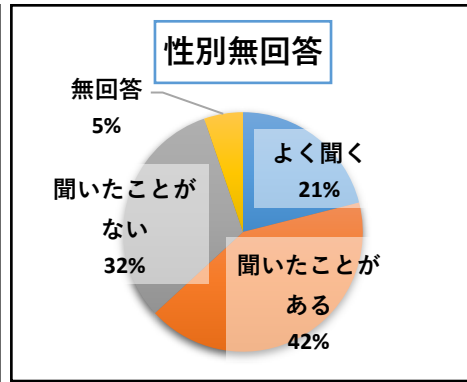
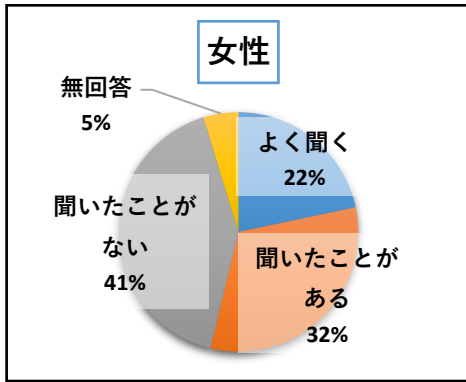
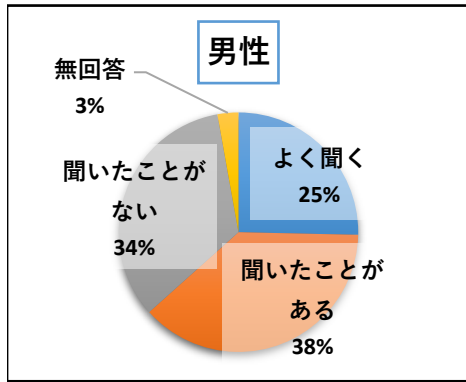
1-4 うい・ずうプラン

	よく聞く	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答	計
男性	2	9	57	3	71
女性	1	16	84	5	106
性別無回答	1	2	15	1	19
合計	4	27	156	9	196



1-5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

	よく聞く	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答	計
男性	18	27	24	2	71
女性	23	34	44	5	106
性別無回答	4	8	6	1	19
合計	45	69	74	8	196



1-6 ジェンダー

	よく聞く	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答	計
男性	20	28	21	2	71
女性	34	28	42	2	106
性別無回答	1	6	11	1	19
合計	55	62	74	5	196

